巻末資料

１　令和８年度県立学校一覧

＜県教育委員会「市町村教育委員会・公立学校等一覧（令和８年５月１日時点）」から引用、編集＞

中学校

学校名	所在地	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
日立第一高等学校附属	日立市若葉町3-15-1	6	230	239	16	－
太田第一高等学校附属	常陸太田市栄町58	3	115	118	15	－
水戸第一高等学校附属	水戸市三の丸3-10-1	6	230	237	19	－
鉾田第一高等学校附属	鉾田市鉾田1090-2	3	115	120	16	－
鹿島高等学校附属	鹿嶋市城山2-2-19	3	115	120	14	－
土浦第一高等学校附属	土浦市真鍋4-4-2	6	230	233	17	－
竜ヶ崎第一高等学校附属	龍ケ崎市平畑248	3	115	118	15	－
下館第一高等学校附属	筑西市下中山590	3	115	120	15	－
下妻第一高等学校附属	下妻市下妻乙226-1	3	115	120	14	－
水海道第一高等学校附属	常総市水海道亀岡町2543	3	115	120	17	－
県立中学校計		39	1,495	1,545	158	－

高等学校（全日制）

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
高萩清松	高萩市赤浜1864	総合学科	10	400	317	39	4
日立第一	日立市若葉町3-15-1	普通科、サイエンス科	18	720	709	63	5
日立第二	日立市鹿島町3-2-1	普通科	9	440	296	29	4
日立工業	日立市城南町2-12-1	電気科	3	120	81		
		情報電子科	3	120	92		
		機械・工業化学科	6	240	190		
		計	12	480	363	39	4
多賀	日立市鮎川町3-9-1	普通科	18	720	679	43	4
日立商業	日立市久慈町6-20-1	商業科	12	480	472		
		情報処理科	3	120	117		
		計	15	600	589	42	4
日立北	日立市川尻町6-11-1	普通科	14	600	546	39	4
磯原郷英	北茨城市磯原町磯原912	普通科	5	280	106	25	3
太田第一	常陸太田市栄町58	普通科	15	600	555	51	6
太田西山	常陸太田市新宿町210	普通科	9	400	176	27	4
大子清流	久慈郡大子町大子224	農林科学科	3	120	51		
		総合学科	3	160	63		
		計	6	280	114	33	5
小瀬	常陸大宮市上小瀬1881	普通科	3	160	68	20	4
常陸大宮	常陸大宮市野中町3257-2	普通科	3	120	51		
		機械・情報技術科	3	120	54		
		商業科	3	120	15		
		計	9	360	120	34	3
水戸第一	水戸市三の丸3-10-1	普通科	18	720	723	73	6
水戸第二	水戸市大町2-2-14	普通科	24	960	944	68	5
水戸第三	水戸市三の丸2-7-27	普通科	18	720	711		
		家政科	3	120	117		
		音楽科	3	90	53		
		計	24	930	881	63	5
緑岡	水戸市笠原町1284	共通（第１学年）、普通科、理数科	21	840	835	55	5
水戸農業	那珂市東木倉983	農業科	3	120	108		
		園芸科	3	120	116		
		畜産科	3	120	119		
		食品化学科	3	120	118		
		農業土木科	3	120	104		
		生活科学科	3	120	117		
		農業経済科	3	120	99		
		計	21	840	781	65	7

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
水戸工業	水戸市元吉田町1101	機械科	6	240	234		
		電気科	6	240	233		
		情報技術科	3	120	115		
		建築科	3	120	120		
		土木科	3	120	118		
		工業化学科	3	120	111		
		計	24	960	931	70	6
水戸商業	水戸市新荘3-7-2	商業科	9	360	357		
		情報ビジネス科	6	240	239		
		国際ビジネス科	6	240	235		
		計	21	840	831	65	4
水戸桜ノ牧	水戸市小吹町2070	普通科	24	960	956	57	5
水戸桜ノ牧常北校	東茨城郡城里町春園1634	普通科	3	120	40	14	2
勝田工業	ひたちなか市松戸町3-10-1	総合工学科	18	720	554	56	5
佐和	ひたちなか市稲田636-1	普通科	18	720	707	44	5
那珂湊	ひたちなか市山ノ上町4-6	普通科	3	120	54		
		商業に関する学科（第１学年）、起業ビジネス科、情報ビジネス科	6	240	188		
		計	9	360	242	31	5
海洋	ひたちなか市和田町3-1-26	海洋技術科	3	120	53		
		海洋食品科	3	120	41		
		海洋産業科	3	120	72		
		計	9	360	166	34	4
笠間	笠間市笠間1668	普通科	7	280	209		
		美術科	3	90	73		
		メディア芸術科	3	90	80		
		計	13	460	362	43	3
大洗	東茨城郡大洗町大貫町2908	普通科	3	200	68		
		普通科（音楽コース）	3	120	71		
		計	6	320	139	27	4
東海	那珂郡東海村村松771-1	普通科	12	480	450	35	4
茨城東	東茨城郡茨城町小幡2524	普通科	6	280	114	28	3
那珂	那珂市後台1710-1	普通科	12	480	474	32	3
鉾田第一	鉾田市鉾田1090-2	普通科	18	720	706	59	5
鉾田第二	鉾田市鉾田1158	農業科	3	120	73		
		食品技術科	3	120	89		
		総合学科	12	480	425		
		計	18	720	587	61	6

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
玉造工業	行方市芹沢1552	工業に関する学科（第１学年）、機械科、電気科、情報技術科	9	360	222	35	4
麻生	行方市麻生1806	普通科	15	600	580	36	4
潮来	潮来市須賀3025	普通科	6	240	200		
		地域ビジネス科	3	120	91		
		人間科学科	3	120	108		
		計	12	480	399	34	3
鹿島	鹿嶋市城山2-2-19	普通科	18	720	712	55	6
神栖	神栖市高浜1468	普通科	12	480	342	36	4
波崎	神栖市土合本町2-9928-1	普通科	6	240	224		
		機械科	3	120	99		
		電気科	3	120	97		
		工業化学・情報科	3	120	114		
		計	15	600	534	44	6
波崎柳川	神栖市柳川1603-1	普通科	8	360	228	27	5
土浦第一	土浦市真鍋4-4-2	普通科	18	720	717	60	6
土浦第二	土浦市立田町9-6	普通科	24	960	945	61	6
土浦第三	土浦市大岩田1599	普通科	9	360	357		
		以下３学科共通（第１学年）、商業科、会計ビジネス科、情報処理科	9	360	358		
		計	18	720	715	52	4
土浦工業	土浦市真鍋6-11-20	機械科	6	240	209		
		電気科	3	120	106		
		情報技術科	3	120	120		
		建築科	3	120	111		
		土木科	3	120	79		
		計	18	720	625	56	5
土浦湖北	土浦市菅谷町1525-1	普通科	18	720	698	43	4
石岡第一	石岡市石岡1-9	普通科	18	720	690		
		園芸科	3	120	108		
		造園科	3	120	101		
		計	24	960	899	63	7
石岡第二	石岡市府中5-14-14	普通科	12	480	419		
		生活デザイン科	3	120	102		
		計	15	600	521	39	4
石岡商業	石岡市東光台3-4-1	商業科	6	240	218		
		情報処理科	3	120	108		
		計	9	360	326	28	3
中央	小美玉市張星500	普通科	15	600	507	40	5
竜ヶ崎第一	龍ケ崎市平畑248	普通科	18	720	715	60	8

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
竜ヶ崎第二	龍ケ崎市古城3087	普通科	6	240	232		
		商業科	3	120	113		
		人間文化科	3	120	121		
		計	12	480	466	33	3
竜ヶ崎南	龍ケ崎市北方町120	普通科	7	280	207	26	3
江戸崎総合	稲敷市江戸崎甲476-2	総合学科	13	480	339	43	6
取手第一	取手市台宿2-4-1	総合学科	18	720	708	56	5
取手第二	取手市東2-5-1	普通科	9	360	351		
		家政科	3	120	115		
		計	12	480	466	33	3
取手松陽	取手市小文間4770	普通科	12	480	476		
		美術科	3	90	88		
		音楽科	3	90	43		
		計	18	660	607	45	4
藤代	取手市毛有640	普通科	18	720	711	45	4
藤代紫水	取手市紫水1-660	普通科	17	720	593	43	4
牛久	牛久市岡見町2081-1	普通科	18	720	715	44	4
牛久栄進	牛久市東猪穴町876	普通科	27	1,080	1,071	80	5
筑波	つくば市北条4387	普通科	9	360	180	33	4
竹園	つくば市竹園3-9-1	共通（第１学年）、普通科、国際科	24	960	954	62	6
つくばサイエンス	つくば市谷田部1818	普通	5	240	156		
		科学技術科	7	400	228		
		計	12	640	384	57	5
岩瀬	桜川市岩瀬1511-1	普通科	5	280	135		
		衛生看護科	3	120	107		
		計	8	400	242	37	5
真壁	桜川市真壁町飯塚210	普通科	3	120	29		
		農業・環境緑地科	3	120	53		
		食品化学科	3	120	44		
		計	9	360	126	30	5
下館第一	筑西市下中山590	普通科	18	720	707	55	5
下館第二	筑西市岡芹1-37	普通科	18	720	709	44	4
下館工業	筑西市玉戸1336-111	機械科	6	240	207		
		電気・電子科	6	240	230		
		建設工学科	3	120	83		
		計	15	600	520	43	5
明野	筑西市倉持1176-1	普通科	1	80	16	12	3
下妻第一	下妻市下妻乙226-1	普通科	18	720	714	52	5
下妻第二	下妻市下妻乙347-8	普通科	21	840	834	50	4

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
結城第一	結城市結城1076	普通科	8	360	250	34	4
鬼怒商業	結城市小森1513-2	共通（第１学年）、商業科、情報ビジネス科	12	480	441	42	4
石下紫峰	常総市新石下1192-3	普通科	12	480	443	37	4
水海道第一	常総市水海道亀岡町2543	普通科	18	720	713	58	6
水海道第二	常総市水海道橋本町3549-4	普通科	9	360	359		
		商業科	6	240	230		
		家政科	3	120	118		
		計	18	720	707	48	4
八千代	結城郡八千代町平塚4824-2	総合学科	15	600	577	47	4
古河第一	古河市旭町2-4-5	普通科	6	240	208		
		以下３学科共通（第１学年）、流通ビジネス科、会計ビジネス科、情報ビジネス科	15	600	586		
		計	21	840	794	57	6
古河第二	古河市幸町19-18	普通科	15	600	510		
		福祉科	3	120	65		
		計	18	720	575	50	4
古河第三	古河市中田新田12-1	普通科	18	720	698	46	4
総和工業	古河市葛生1004-1	機械科	3	120	89		
		電子機械科	3	120	81		
		電気科	3	120	43		
		計	9	360	213	35	4
三和	古河市五部54-1	普通科	6	240	132		
		普通科（ヒューマンサービスコース）	3	120	64		
		計	9	360	196	31	3
境	猿島郡境町175	普通科	18	720	662	46	4
坂東清風	坂東市岩井4319-1	農と食科	3	120	51		
		総合学科	11	480	283		
		計	14	600	334	51	5
守谷	守谷市大木70	普通科	18	720	661	44	4
伊奈	つくばみらい市福田711	普通科	18	720	699	44	4
全日制計			1,267	51,370	44,978	3,826	386

高等学校（定時制）

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
高萩	高萩市高萩1111	普通科	12	480	151	32	5
日立工業	日立市城南町2-12-1	総合学科	4	160	10	10	1
太田第一	常陸太田市栄町58	普通科	2	80	3	6	－
水戸農業	那珂市東木倉983	農業科	4	160	41	11	－
水戸南	水戸市白梅2-10-10	普通科	12	480	195	39	5
ＩＴ未来	笠間市大田町352-15	ＩＴ科	8	320	200	45	3
鹿島灘	鹿嶋市志崎121	普通科	11	480	113	35	4
土浦第一	土浦市真鍋4-4-2	普通科	4	160	97	10	－
石岡第一	石岡市石岡1-9	普通科	4	160	23	8	－
竜ヶ崎第一	龍ケ崎市平畑248	普通科	4	160	50	8	－
茎崎	つくば市茎崎447-8	普通科	16	640	200	43	5
結城第二	結城市結城7355	普通科	14	480	243	34	4
古河第一	古河市旭町2-4-5	普通科	4	160	60	9	－
定時制計			99	3,920	1,386	290	27

高等学校（通信制）

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
水戸南	水戸市白梅2-10-10	普通科	－	1,120	819		
		ライフデザイン科	－	120	104		
		計	－	1,240	923	29	2

高等学校（専攻科）

学校名	所在地	学科名	学級数	定員数	生徒数	教員数	事務職員数
岩瀬	桜川市岩瀬1511-1	衛生看護科	2	80	64	－	－

中等教育学校

学校名	所在地	前期課程の学級数	前期課程の定員数	前期課程の生徒数	後期課程の学級数	後期課程の定員数	後期課程の生徒数	教員数	事務職員数
勝田	ひたちなか市足崎1458	9	345	358	6	360	339	51	5
並木	つくば市並木4-5-1	12	460	472	12	480	468	73	5
古河	古河市磯部846	9	345	358	9	360	337	56	4
県立中等教育学校計		30	1,150	1,188	27	1,200	1,144	180	14

特別支援学校

学校名	所在地	部別	学級数	児童生徒数	教員数	事務職員数
盲学校	水戸市袴塚1-3-1	幼稚部	0	0		
		小学部	5	7		
		中学部	4	7		
		高等部	9	16		
		計	18	30	58	5
水戸聾学校	水戸市千波町2863-1	幼稚部	3	4		
		小学部	11	22		
		中学部	5	12		
		高等部	5	15		
		計	24	53	61	5
霞ヶ浦聾学校	稲敷郡阿見町上長3-2	幼稚部	4	7		
		小学部	6	15		
		中学部	3	7		
		高等部	0	0		
		計	13	29	35	3
常陸太田特別支援学校	常陸太田市瑞龍町1032-1	幼稚部	0	0		
		小学部	17	67		
		中学部	17	78		
		高等部	14	74		
		計	48	219	111	4
北茨城特別支援学校	北茨城市中郷町小野矢指1657	幼稚部	0	0		
		小学部	15	49		
		中学部	9	30		
		高等部	6	30		
		計	30	109	69	4
水戸特別支援学校	水戸市吉沢町3979	幼稚部	0	0		
		小学部	23	57		
		中学部	16	40		
		高等部	18	51		
		計	57	148	135	4
水戸飯富特別支援学校	水戸市飯富町3436-20	幼稚部	0	0		
		小学部	24	106		
		中学部	14	69		
		高等部	12	73		
		計	50	248	110	4
水戸高等特別支援学校	水戸市下大野町6212	幼稚部	0	0		
		小学部	0	0		
		中学部	0	0		
		高等部	18	140		
		計	18	140	55	3

学校名	所在地	部別	学級数	児童生徒数	教員数	事務職員数
友部特別支援学校	笠間市鯉淵6558-1	幼稚部	0	0		
		小学部	14	58		
		中学部	11	49		
		高等部	9	49		
		計	34	156	81	4
友部東特別支援学校	笠間市鯉淵6528-1	幼稚部	0	0		
		小学部	3	8		
		中学部	4	12		
		高等部	5	12		
		計	12	32	42	4
内原特別支援学校	水戸市鯉淵町2570	幼稚部	0	0		
		小学部	21	100		
		中学部	10	32		
		高等部	7	37		
		計	38	169	85	4
勝田特別支援学校	ひたちなか市高場2452	幼稚部	0	0		
		小学部	35	133		
		中学部	14	52		
		高等部	17	75		
		計	66	260	136	4
大子特別支援学校	久慈郡大子町頃藤3602	幼稚部	0	0		
		小学部	7	19		
		中学部	5	16		
		高等部	0	0		
		計	12	35	28	3
鹿島特別支援学校	鹿嶋市大字沼尾1195	幼稚部	0	0		
		小学部	39	174		
		中学部	22	100		
		高等部	20	106		
		計	81	380	171	5
土浦特別支援学校	土浦市上高津上/台1238	幼稚部	0	0		
		小学部	24	96		
		中学部	15	66		
		高等部	13	80		
		計	52	242	114	4
石岡特別支援学校	石岡市下青柳716-1	幼稚部	0	0		
		小学部	26	115		
		中学部	16	66		
		高等部	12	67		
		計	54	248	115	4

学校名	所在地	部別	学級数	児童 生徒数	教員数	事務 職員数
美浦特別支援学校	稲敷郡美浦村土屋字笹山3127	幼稚部	0	0		
		小学部	29	129		
		中学部	18	81		
		高等部	18	104		
		計	65	314	148	4
伊奈特別支援学校	つくばみらい市青古新田300	幼稚部	0	0		
		小学部	42	180		
		中学部	23	106		
		高等部	17	102		
		計	82	388	168	4
つくば特別支援学校	つくば市玉取2100	幼稚部	0	0		
		小学部	61	214		
		中学部	29	108		
		高等部	26	99		
		計	116	421	223	5
下妻特別支援学校	下妻市半谷492-4	幼稚部	0	0		
		小学部	13	36		
		中学部	9	22		
		高等部	6	17		
		計	28	75	77	4
結城特別支援学校	結城市鹿窪1357-10	幼稚部	0	0		
		小学部	27	110		
		中学部	12	48		
		高等部	16	90		
		計	55	248	117	4
協和特別支援学校	筑西市谷永島495-1	幼稚部	0	0		
		小学部	30	107		
		中学部	14	56		
		高等部	15	76		
		計	59	239	121	4
境特別支援学校	猿島郡境町塚崎2170	幼稚部	0	0		
		小学部	39	169		
		中学部	19	88		
		高等部	18	102		
		計	76	359	155	4
県立特別支援学校計		幼稚部	7	11		
		小学部	511	1,971		
		中学部	289	1,145		
		高等部	281	1,415		
		計	1,088	4,542	2,415	93

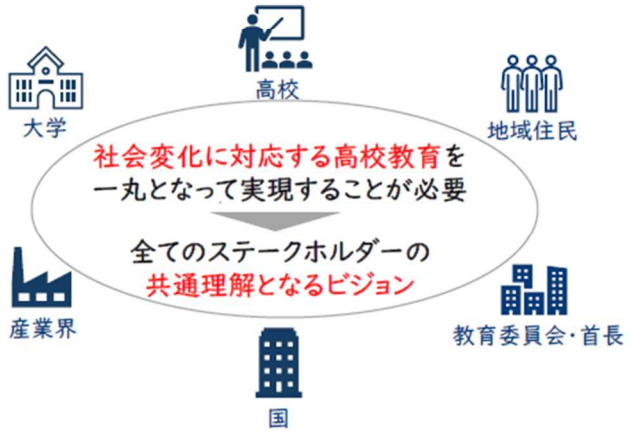
2　高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）

高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）【概要】
～2040年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～

New Education, New Excellence, New Transformation of High Schools

1. グランドデザインの背景・必要性

- ✓ AIの実装などデジタル技術の目まぐるしい発展
  2040年には、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化
  →現在の人材供給トレンドが続けば、労働力需給ギャップが発生
  （事務職は余剰、AI・ロボット関係、いわゆる理系人材は不足）
- ✓ 将来を正確に予測することは難しく、どのような未来が訪れるか分からない
  →生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばす
  →全ての高校生が家庭の経済状況等に左右されることなく、希望する大学等への進学や就職等をし、それが個人の幸福につながり、ひいては、我が国の経済・社会の基盤を強いものとしていくことにつながる



2. 高校改革の方向性～2040年に向けた高校の姿～

視点1　不確実な時代を自立して生きていく主権者として、AIに代替されない能力や個性の伸長

学びの在り方の転換
（New Transformation）

- ✓ リアルとデジタルの良さを組み合わせつつ、「好き」を育み、「得意」を伸ばす機会を確保し、生徒の実態を踏まえた柔軟な教育課程の実現
- ✓ スクール・ミッション、スクール・ポリシーを踏まえた教育活動の改善、公表
- ✓ 高校教育と一貫した大学教育改革（主体的・自律的な学修のための環境構築、出口における質保証等）

視点2　我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成

最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化
（New Excellence）

- ✓ 探究・文理横断・実践的な学び、STEAM教育、産業界と協働した専門高校の学びの充実
  ➡ 理数・文系的素養やAIを使いこなす力を身に付け、社会で活躍するロールモデルを体感
- ✓ 各高校の特色化・魅力化
  ➡ 学科構成の見直し、専門高校の機能強化・高度化、グローバル人材の育成
  ➡「普通科」の在り方の転換、即戦力の人材と進学を見据えた高度専門職人材の育成

視点3　一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保

学ぶ機会・アクセスの確保
（New Education）

- ✓ 全国どこにいても多様で質の高い学びを保障し、地方の生徒はもとより誰一人取り残されず、全ての生徒の可能性を最大限引き出す
  （地理的アクセスの確保、都道府県の実情等に応じた学校配置・規模の適正化、小規模校を含む遠隔授業等の推進）
- ✓ 通信制高校の教育の質の確保・向上
- ✓ 不登校生徒への学習支援、特別支援教育や日本語指導が必要な生徒への教育の充実

3つの視点を重視しながら、更なる高校改革を進め、N-E.X.T.ハイスクール構想を実現する。
高校から大学・大学院に至るまでの一貫した改革により、強い経済や地域社会の基盤となる人材を育成する。

3. N-E.X.T.ハイスクール構想の中核となる高校支援

国の
高校教育改革に関する
グランドデザイン策定

都道府県 実行計画策定

総合教育会議等を活用し、地域別就業構造の推計や人口の将来推計等を踏まえて検討。首長、関係部局、大学、地域の関係者や産業界との連携・協働を図る。

安定財源を確保した上で、
交付金等の新たな財政支援の
仕組みの構築

基金の執行状況等を踏まえ、R9年度予算の編成過程で検討。

※交付金等の構築に先立ち、高校教育改革のための基金を都道府県に造成し、N-E.X.T.ハイスクール構想の実現のために、パイロットケースとして先導的な学びの在り方を構築する高校（改革先導拠点）を創設。

新しい学校のイメージや取組例

専門高校の機能強化・高度化
（アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成等）

（学校のイメージ）
地域発のイノベーションを興すことのできる人材等の育成を目指し、理論と実践の往還によるカリキュラムの実施等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校

（取組例）
- ✓ ビジネス経験の必修化
- ✓ ものづくりから流通まで一体的な学びの実践
- ✓ 「高校版企業寄附講座」等の実践やそれを前提とした進学・就職機会の確保

普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化
（文理の双方の素養を有する人材の育成等）

（学校のイメージ）
文理にとらわれない幅広い教養等を備えた新しい価値を創造する人材等の育成を目指し、実社会につながる生きた授業の実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校

（取組例）
- ✓ 実社会につながる生きた授業の実践
- ✓ 高度実験環境を核とする理数探究拠点整備
- ✓ 探究型授業研修の充実による教師のスキル向上、探究伴走支援専門チームの構築

地理的アクセス・多様な学びの確保

（学校のイメージ）
学校の枠を超えて多様な人々と協働し、社会の課題を主体的に探究・解決できる人材等の育成を目指し、柔軟で質の高い学びの実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校

（取組例）
- ✓ 学校間連携や遠隔授業等を活用した教育機会の確保
- ✓ 学校と地域の関係機関の連携・協働の強化による学習環境の提供
- ✓ 他の学校種との連携の充実

これらの取組の一環として、留学支援を含むグローバル人材育成支援や、学校と地域が連携・協働した学力向上・学習支援などについて取り組む。

2040年までに達成を目指す目標

【職業教育の高度化・魅力の強化関係】
・地域の産業界等と連携・協働した取組を行う専門高校：100%
・少子化傾向においても専門高校の生徒数を現在と同水準

【普通科の在り方の転換・魅力の強化関係】
・文理横断的な学びに取り組む普通科高校：100%
・普通科でいわゆる文系と理系の生徒の割合：同程度

【多様な学びの確保関係】
・学びの状況に関する生徒の肯定的な評価の向上
・高校卒業段階の進路未決定者の割合の半減

３　高等学校等教育改革促進事業（改革先導拠点）（令和８年９月15日時点）



ＡＩや先端技術を活用し、将来の産業の変化に対応できる実践力を備えた、地域産業をリードする人財の育成

育てたい人財像
・ＡＩ・データ・先端技術を活用し、産業の高度化に対応できる実践力を備えた人財
・地域の製造業・建設・設備分野を支える技能とデジタル活用力を併せ持つ人財

【先導拠点校】

水戸工業

機械科、電気科、情報技術科、建築科、土木科、工業化学科

【協力校】
《ＡＩ・先端技術活用推進校》
①ＩＴ未来（ＩＴ科）
《工業教育推進校》
❶高萩清松 ❷日立工業 ❸常陸大宮 ❹勝田工業 ❺玉造工業 ❻波崎
❼土浦工業 ❽江戸崎総合 ❾取手第一 ❿下館工業 ⓫八千代 ⓬総和工業

【取組例】
○ **社会実装型探究による課題発見・解決力の育成**
・３年間連続探究カリキュラムを導入し、課題発見から課題解決までを段階的に学習
・企業・大学と連携した社会実装型探究活動を展開
○ **イノベーションファクトリーを活用した先端技術教育**
・６学科共通の実習基盤を整備し、「設計→試作→検証」による探究活動を実施
・半導体関連実習装置、ロボット、ドローン等を活用した実践的な学習環境を整備
○ **産学官連携による高度専門人材の育成**
・企業技術者、大学生・大学院生による伴走型メンタリングを実施
・半導体、ＡＩ、データサイエンス、ロボティクス等の専門分野セミナーを開講
○ **教員の指導力向上による学びの高度化**
・企業・大学における実践型研修を実施し、最新技術・知識を習得
・学科横断型教員コミュニティを校内に設置し、教材共有や共同研究を推進

【連携機関】
○産業界：地元関連企業、Ｐ-ＴＥＣＨ参加企業 等
○大学等：茨城大学など県内外大学、情報テクノロジー大学校 等
○部局等：産業戦略部、県産業技術イノベーションセンター 等

生徒派遣 現場実習
技術指導 教員研修

機械分野

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ❿ ⓫ ⓬

化学分野

❷ ❻

電気分野

❷ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❿ ⓫ ⓬

土木分野

❼ ❿

情報分野

① ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❾

建築分野

❼ ❿

【他分野専門高校との連携】

製品の圃場等での使用	開発製品を題材にターゲット分析、価格設定、販路開拓、プロモーション	スマート介護・福祉機器開発
農業系高校	商業系高校	福祉系高校

社会課題を解決するために自ら目的を定め、理数系の知識・技能と数理的な探究力を高める人財の育成

育てたい人財像

[裾野拡大]自律的に学びを設計し、実践力を駆使した研究成果の社会実装により複雑な課題に挑み続ける人財
[トップ育成]科学的思考力と探究力を基盤に、高度な研究や探究活動を通じて理数系分野の発展を牽引する人財

【先導拠点校】

つくばサイエンス
普通科、科学技術科

【協力校】
日立第一　太田第一　佐和　茨城東　土浦第二
牛久栄進　下館第一　古河中等

メカトロニクス分野



インフラ・都市デザイン分野



【取組例】

○ **新しい普通科を軸とした社会接続型・自己設計型カリキュラム**
・教科の学びと大学の学問・研究、企業の仕事・技術を接続し、キャリアを構築
・3年間の理数探究と各教科科目、3年次の学校設定科目で探究を体系化
・固定的な文理分けを行わず、関心・適性に応じた進路を自己設計

○ **地域に左右されない高度理数学習・探究モデルの構築**
・遠隔配信センターと連携した指導教諭等による数学・物理等の発展講座
・複数校協働で大学教員等が伴走する学校横断型の高度理数探究の推進
・理数学習推進リーダーを核に協力校・県内各校へ展開

○ **TSラーニングハブによる実践基盤整備**
・ラーニングコモンズで個別学習・協働探究・成果発表・小中学生探究の展開
・STEAMラボで理数探究における実験・計測・分析・設計・試作・検証
・コネクトラボで高度理数学習において双方向講座・探究指導・教材配信

AI・データ活用分野



バイオテクノロジー分野



生徒派遣
現場実習

【連携機関】
つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム
○産業界：研究機関、スタートアップ企業、支援企業 等
○大学等：茨城大学、筑波大学など県内外大学 等
○部局等：技術革新課、つくば市 等

技術指導
教員研修

【普通科・理数科高校等との連携】

探究の成果・ノウハウの共有
DXハイスクール校

高度な探究の連携・実験設備の共有
SSH校

遠隔で広がる可能性の中で、主体的に学び続ける人財

育てたい人財像

・自らの興味・関心、強み及び適性を理解し、必要な学習を主体的に選択・継続して希望する進路を切り拓ける人財
・理数・情報等の学び、デジタル技術、データを活用し、地域や産業の課題を発見、分析して、他者と協働しながら解決策を提案できる人財
・茨城県の産業、大学、企業及び多様な職業について理解し、地域とつながりを持ち、地域社会に還元しようとする姿勢を持つ人財

【先導拠点】

遠隔配信センター
（茨城県教育研修センター内）

【対　象】・県内全域の高校
【取組例】・遠隔授業の配信（20校・14科目以上）
・専門資格取得支援（IT系資格等）
・指導法の研究と普及（外部専門家と連携）
・オンデマンド教材の配信（アーカイブ動画等）
・オンライン共同探究（協働的な学び）
【連携先】・各専門分野における外部人材
・オンライン配信手法等に係る専門人材
（茨城大学、放送大学、民間　等）
・ＩＣＴ技術支援業者　等

【協力校】
高萩清松　磯原郷英　太田第一　太田西山　大子清流
小瀬　常陸大宮　水戸桜ノ牧常北校　那珂湊　佐和　海洋
大洗　東海　茨城東　玉造工業　波崎柳川　石岡商業
竜ヶ崎南　筑波　真壁　結城第一　鬼怒商業　石下紫峰
総和工業　三和

●遠隔授業の配信
（授業配信）
・選択科目や習熟度別の授業配信（情報、数学、理科　等）
・複数校参加型の合同授業
（課外配信）
・大学進学希望者向け講座
・難関検定（英検等）取得講座
⇒進学に対応できる多様な学習環境を整備



●配信教員の授業スキル向上と研修による普及
・茨城大学講師、放送大学准教授及びＤＸアドバイザー（ソフトバンク）と連携
・指導法や機材活用について月１回以上意見交換し、授業改善
⇒指導法をパッケージ化
⇒遠隔授業のスペシャリストを育成

・同施設内で行われる研修で教員に遠隔授業の指導法を普及
・スペシャリストの配信授業を希望教員がオンライン視聴
⇒県内全域で授業改善の取組に活用

●専門人材による課外の配信
・ＩＴ基礎、データサイエンス、ＡＩ活用、英語等を配信
・ＩＴパスポート、基本情報技術者試験等の専門資格取得講座
⇒社会が求めるスキル習得を支援



●オンデマンド教材の配信
・いつでもどこでも生徒が自主的に受講できる環境
・遠隔授業や専門講座のアーカイブ化や多様なニーズに対応した教材を提供



●オンライン共同探究
・社会接続型のテーマを設定し、複数校の生徒がオンラインで探究活動を実施
⇒　地域の担い手としての当事者意識を醸成

４　県立学校アンケート結果

令和８年５月　監査委員事務局

令和８年度行政監査に係る県立学校調査結果

Ⅰ　調査概要

令和８年度行政監査テーマ（県立学校の財務事務の効率化及び教育環境の向上）について、県立学校の財務事務に係る不備の解消、教員・事務職員間の更なる事務分担の見直し、学校間の事務の共同化による効率化、学校施設の適切な老朽化対策等を促す監査を実施することにより、より幅広い視点から教育環境の向上や県立高校の魅力づくりに寄与することを目的とし、各学校における取組を調査したもの。

調査票１

・調査項目　１　財務事務の執行に当たっての取組等
　　２　事務職員の資質向上のための取組
　　３　県立学校の事務の負担軽減のための取組
・対象者　校長、教頭、事務（室）長、事務職員（係長、主任、主事等）　723 人
・回答数　689 人（校長 113 人、教頭 167 人、事務（室）長 117 人、事務職員 292 人）
・回答率　95.3%

調査票２

・調査項目　４　学校施設の老朽化（長寿命化）対策
　　５　現金や通帳の管理状況
・対象者　学校
・回答数　118 校（全 128 校中、附属中を設置している高校 10 校は一括して回答）
・回答率　100%

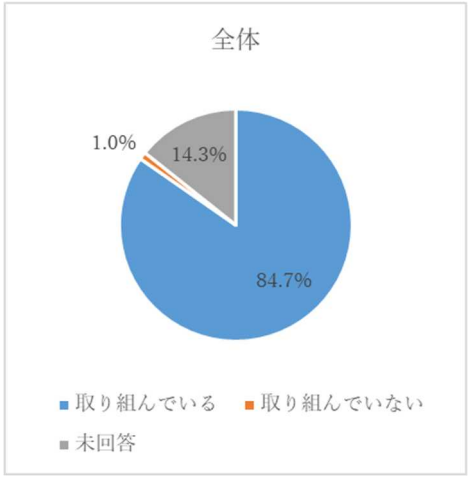
Ⅱ　集計内容

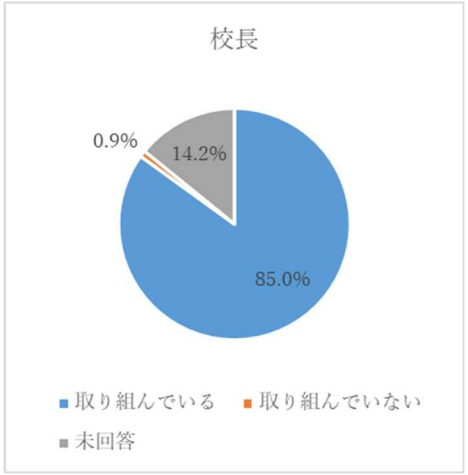
１　財務事務の執行に当たっての取組等

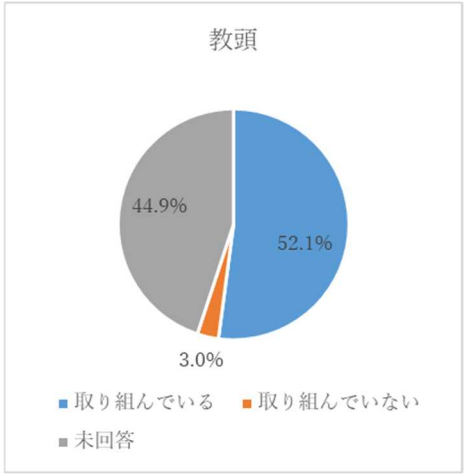
（１）財務事務の執行に当たり、教育庁財務課や会計管理課作成の既存の事務フローなどを活用してミスの防止に取り組んでいるか。

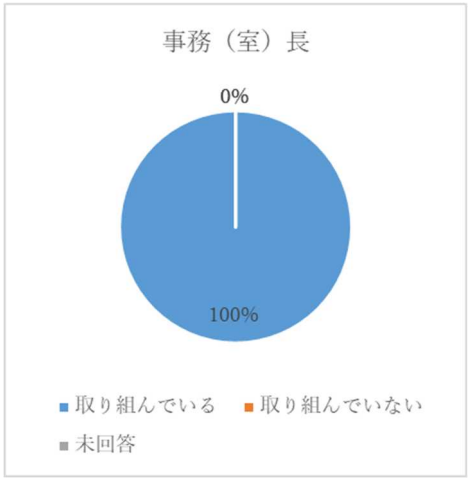
○　事務（室）長、事務職員はフロー等を活用してミス防止に取り組んでいる。

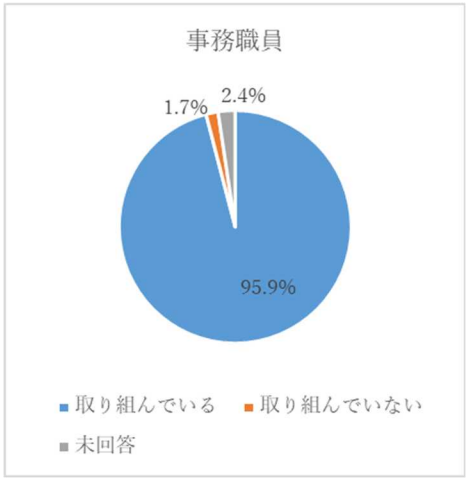
○　校長も概ね取り組んでいるが、教頭は財務事務には関わっていないとの回答が多い。











※「未回答＝分からない」
　財務事務と関わっていないため、新規採用職員のため、分からないとの回答
　（以下、同様）

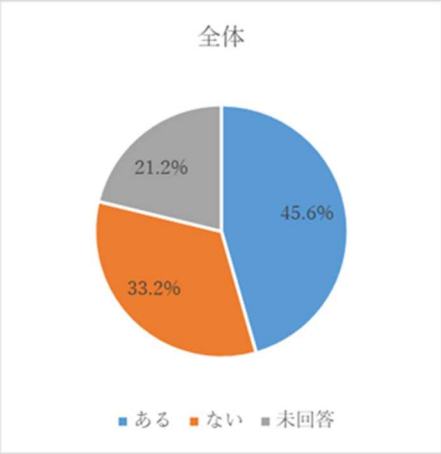
（２）また、財務事務に係るミスの防止のために学校で独自に取り組んでいることはあるか。

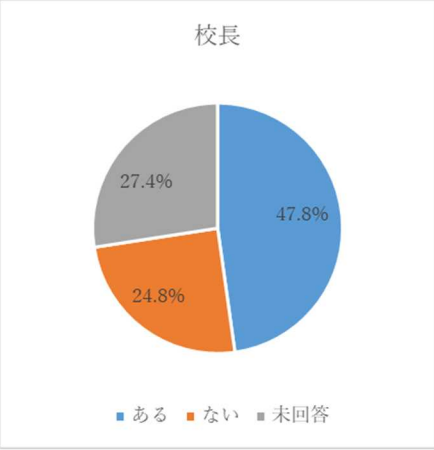
○　職層により取り組んでいるとの回答率が異なり、意識の違いが見られる。
（事務長と事務職員にも大きな乖離が見られる）（教頭は財務事務との関わりが薄いため低い）

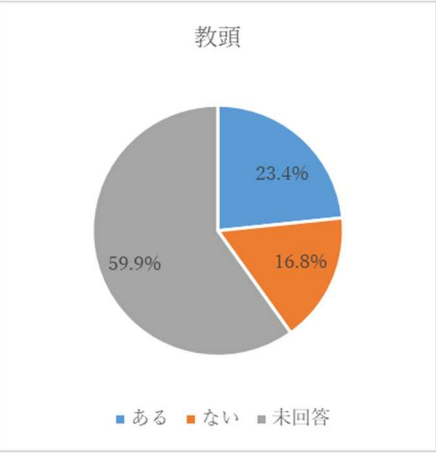
○　主に以下の取組みが実施されている。

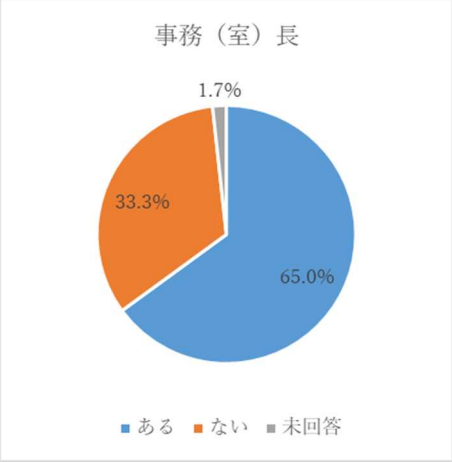
・ダブルチェック・複数確認。　　・チェックにあたり、担当ごとにマーカーの色を変えて確認者がわかるようにする。

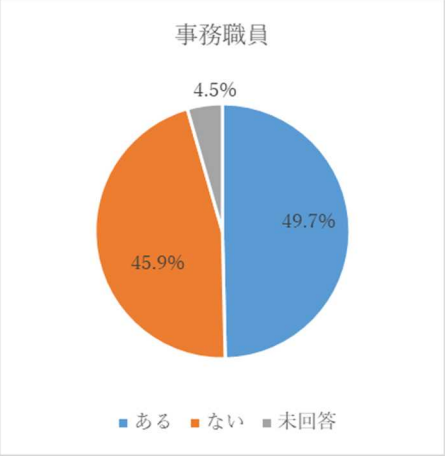
・カレンダー・ホワイトボード等での「見える化」。　　・マニュアル活用・監査事例共有。





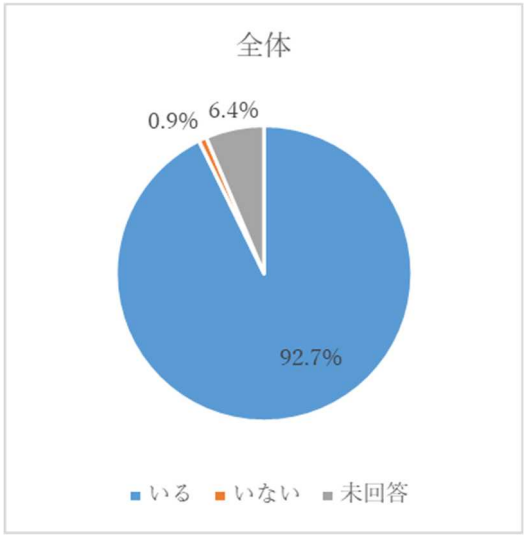


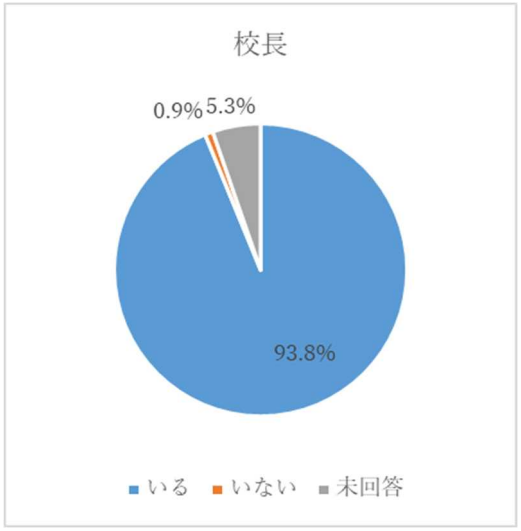


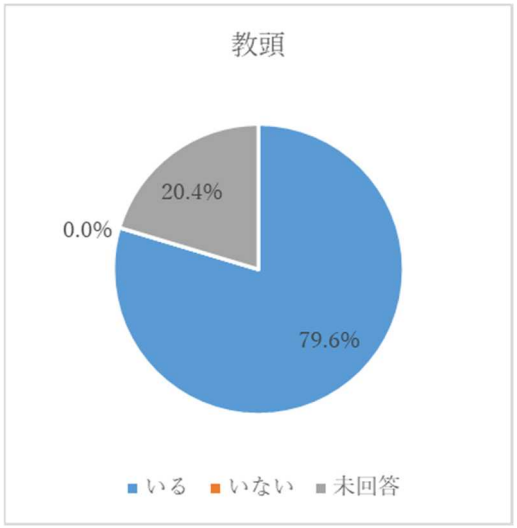


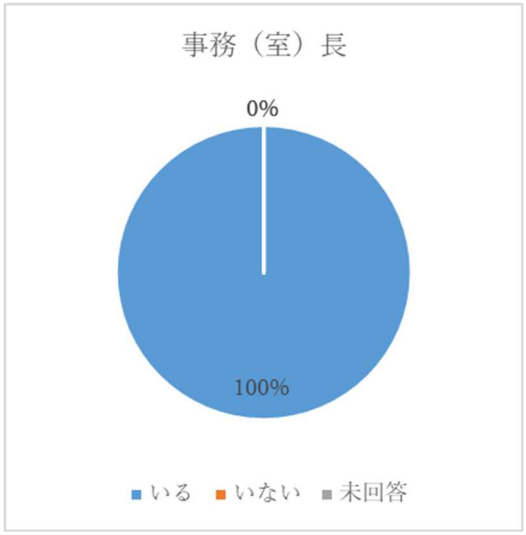
（３）職員間や上司との間での相談などは頻繁に行われていると考えているか。

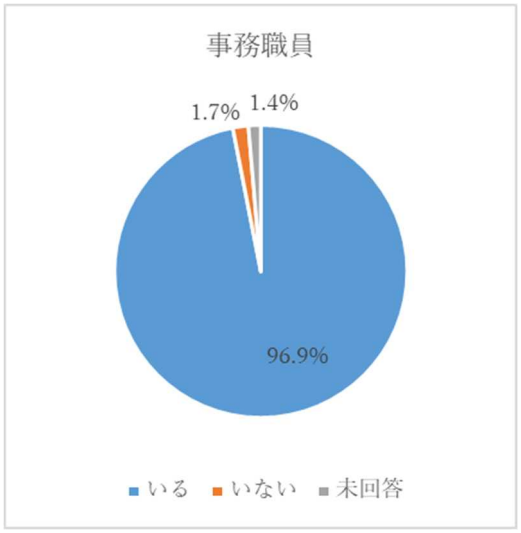
○　財務事務との関りが薄い教頭を除く全ての職層で相談はできているとの回答。





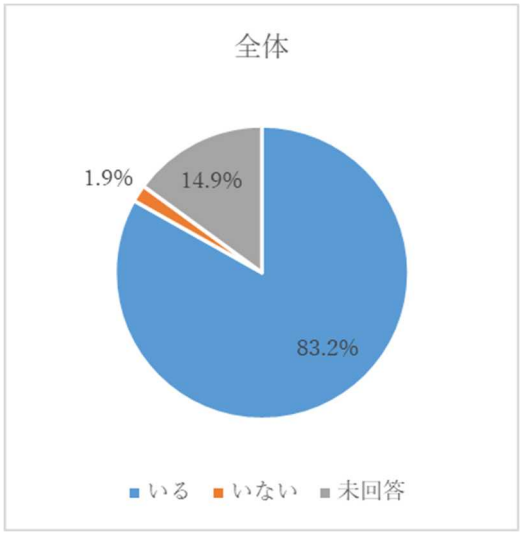


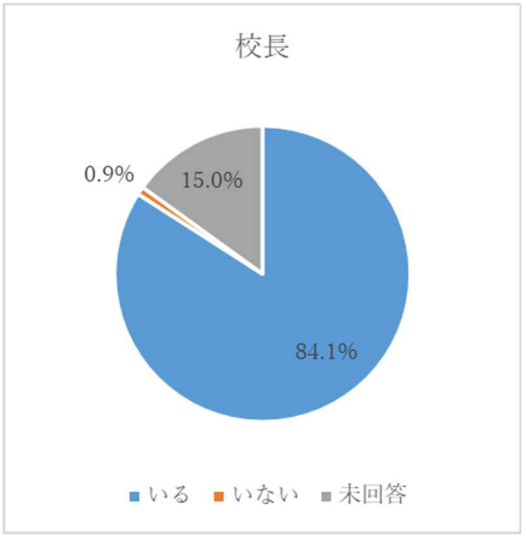


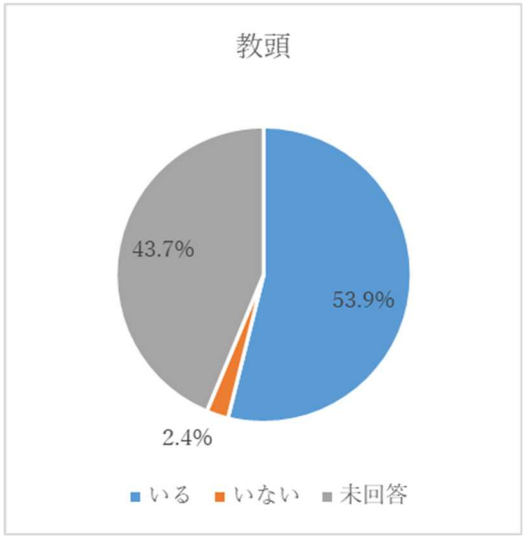


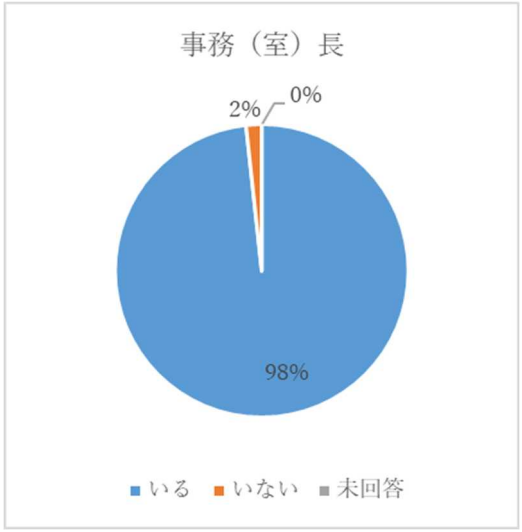
（４）リスク評価シートに定めるとおり、実行者がリスク対応策を確実に履行しているか。

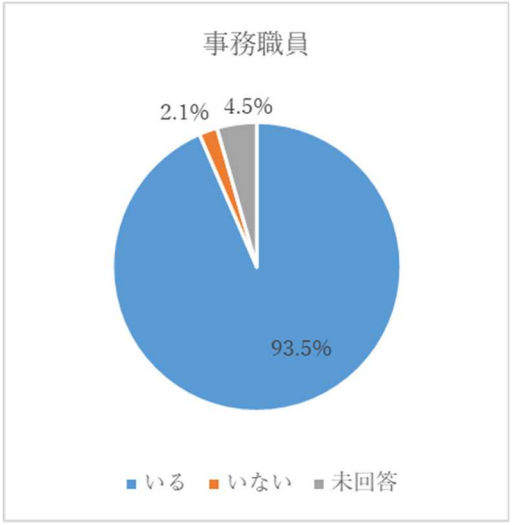
○　財務事務との関りが薄い教頭を除く全ての職層で履行しているとの回答。







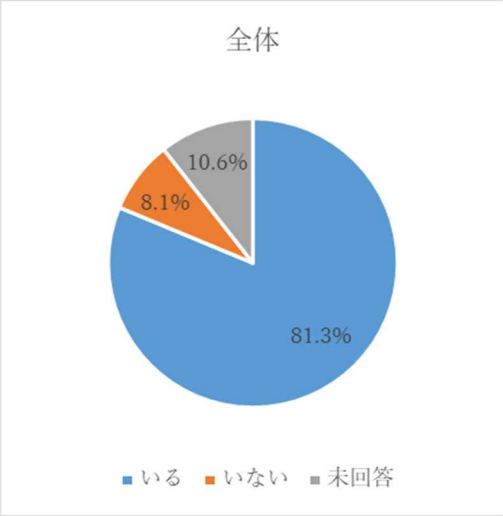


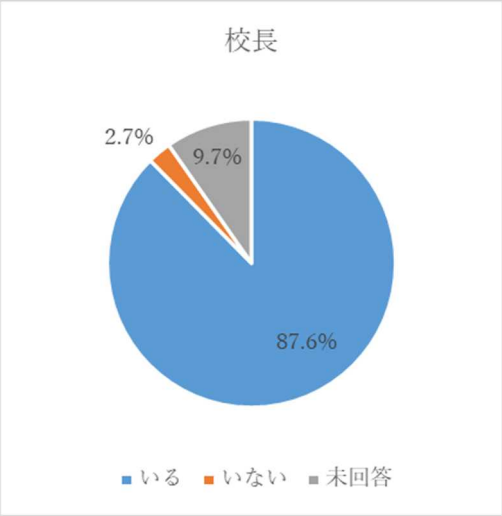


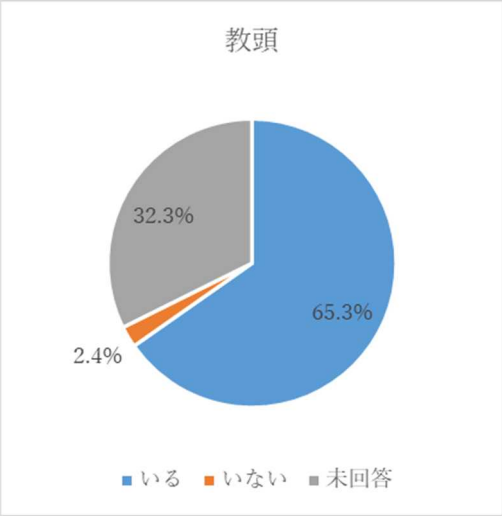
（５）担当職員が不在の時でも対応ができるような具体的な体制ができているか。

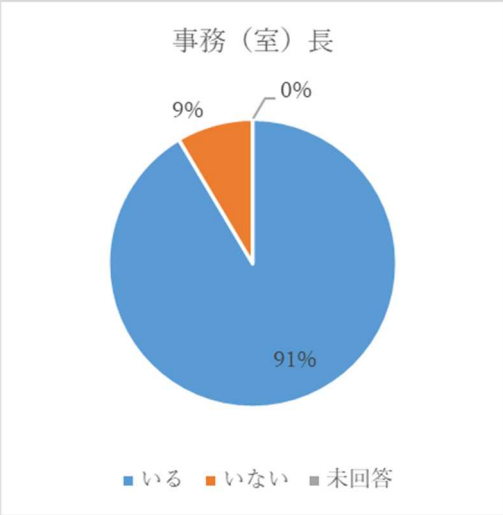
○　財務事務との関りが薄い教頭を除く全ての職層で９割程度は体制ができているとの回答。

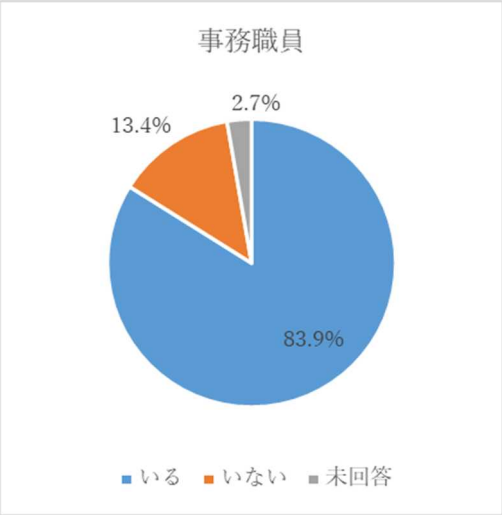
○　ただし、１割程度はできていないとの回答。





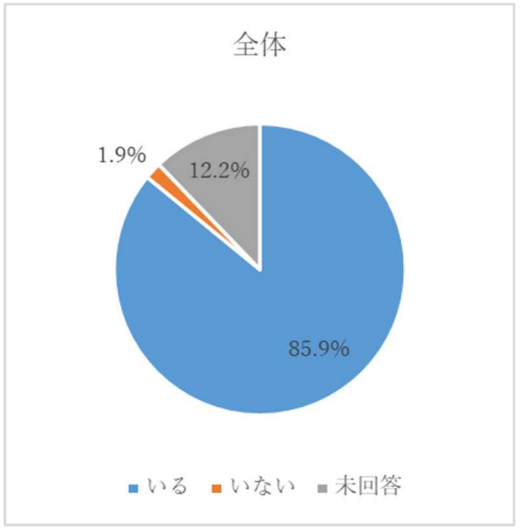


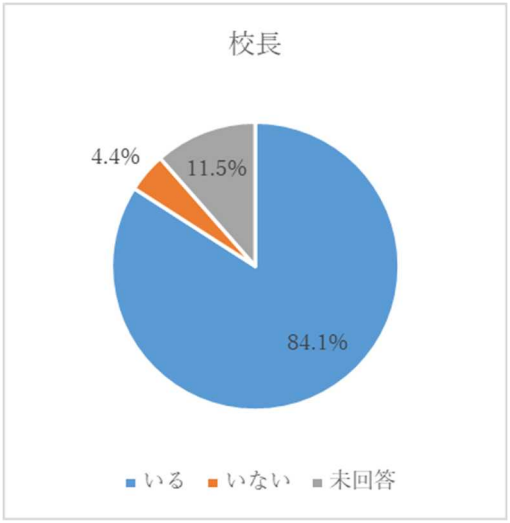


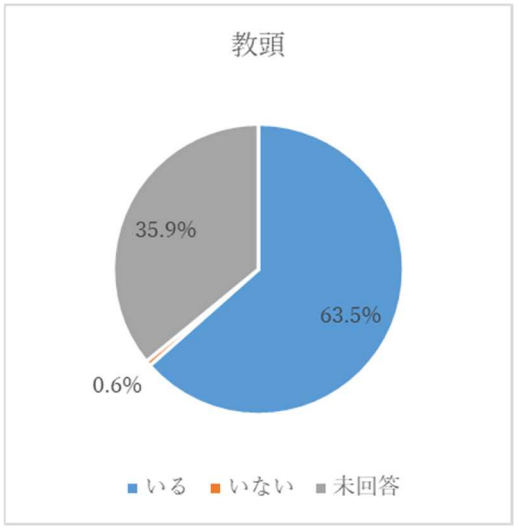


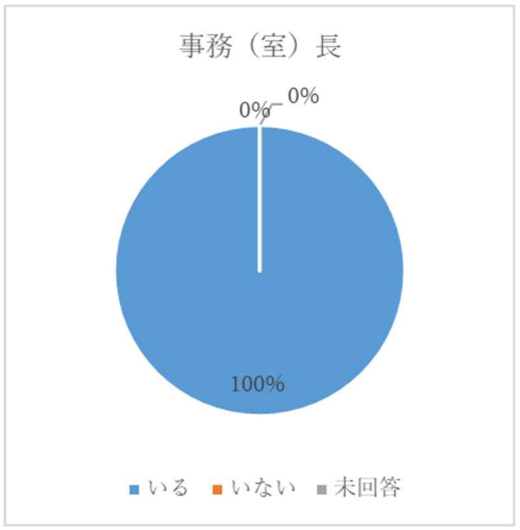
（６）他校（他所属）の監査結果や再発防止策について、学校内での周知徹底はされているか。

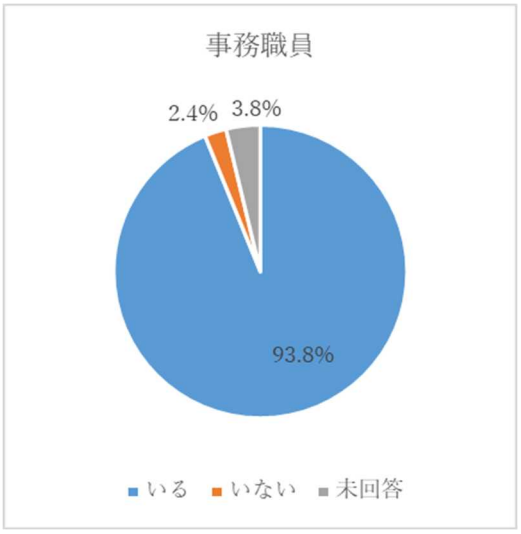
○　財務事務との関りが薄い教頭を除く全ての職層で周知徹底されているとの回答。





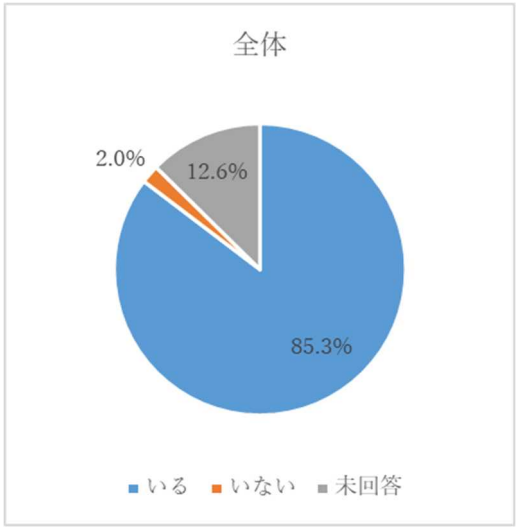


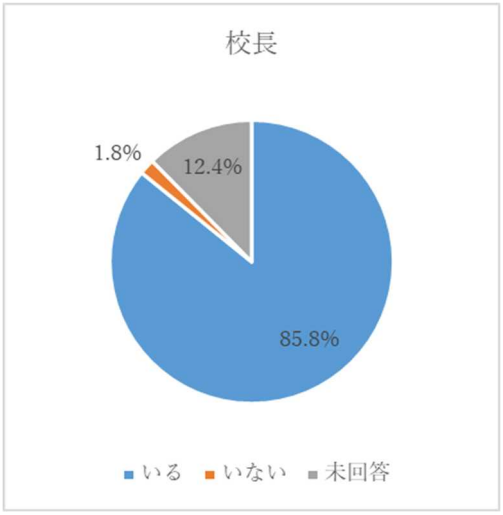


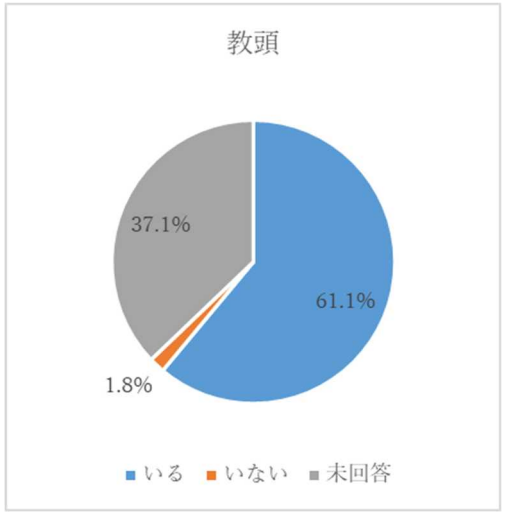


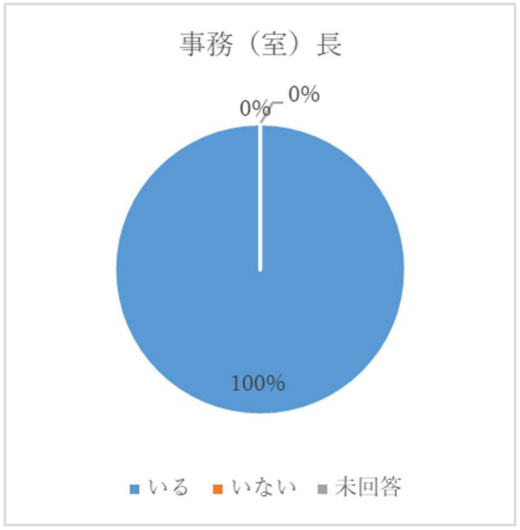
（７）他校（他所属）の監査結果や再発防止策を受け、学校内の事務事業の点検や見直しなどに取り組んでいるか。

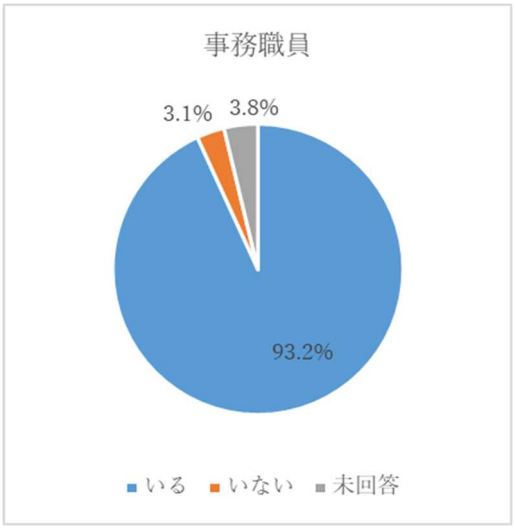
○　財務事務との関りが薄い教頭を除く全ての職層で取り組んでいるとの回答。





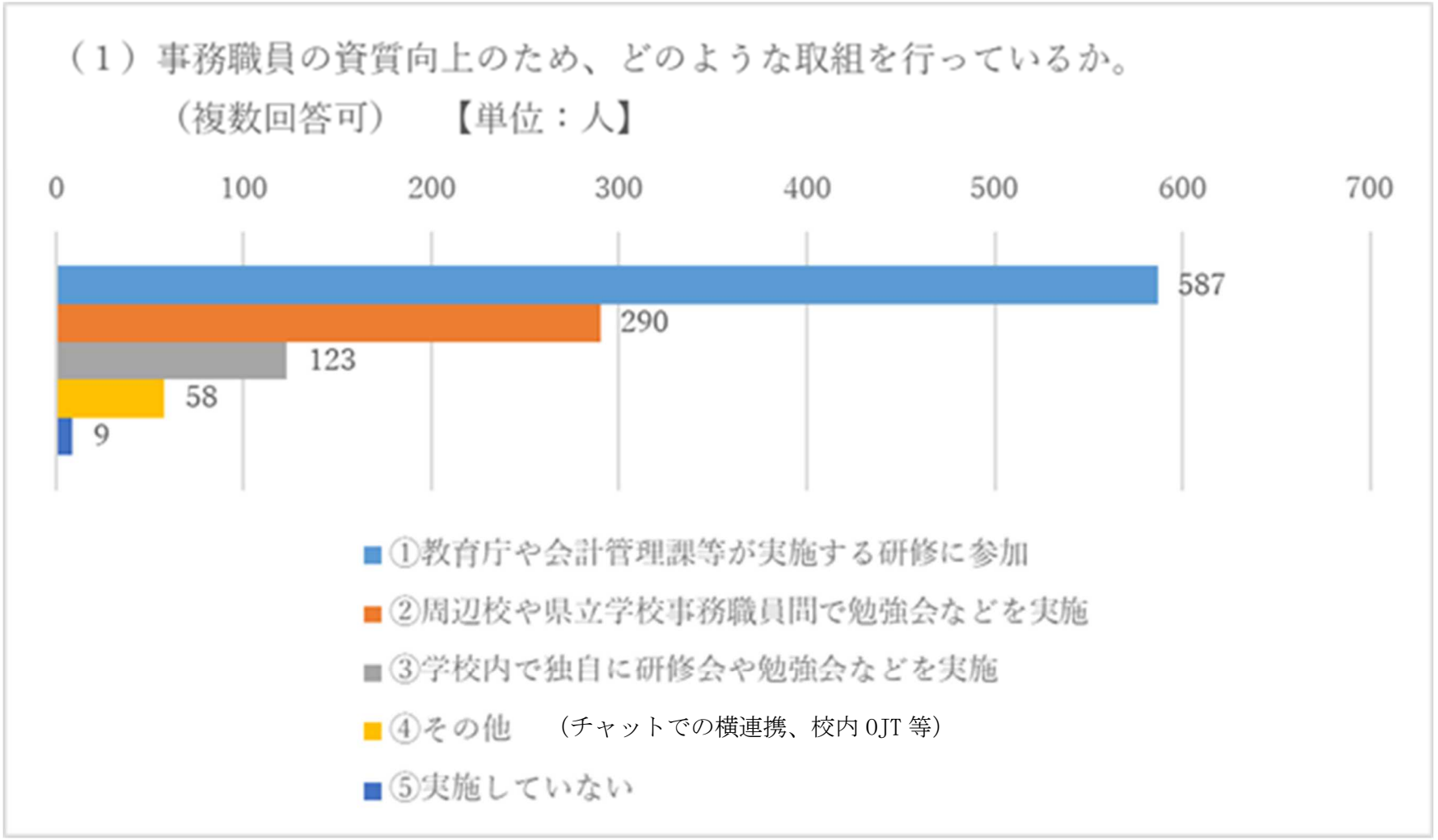






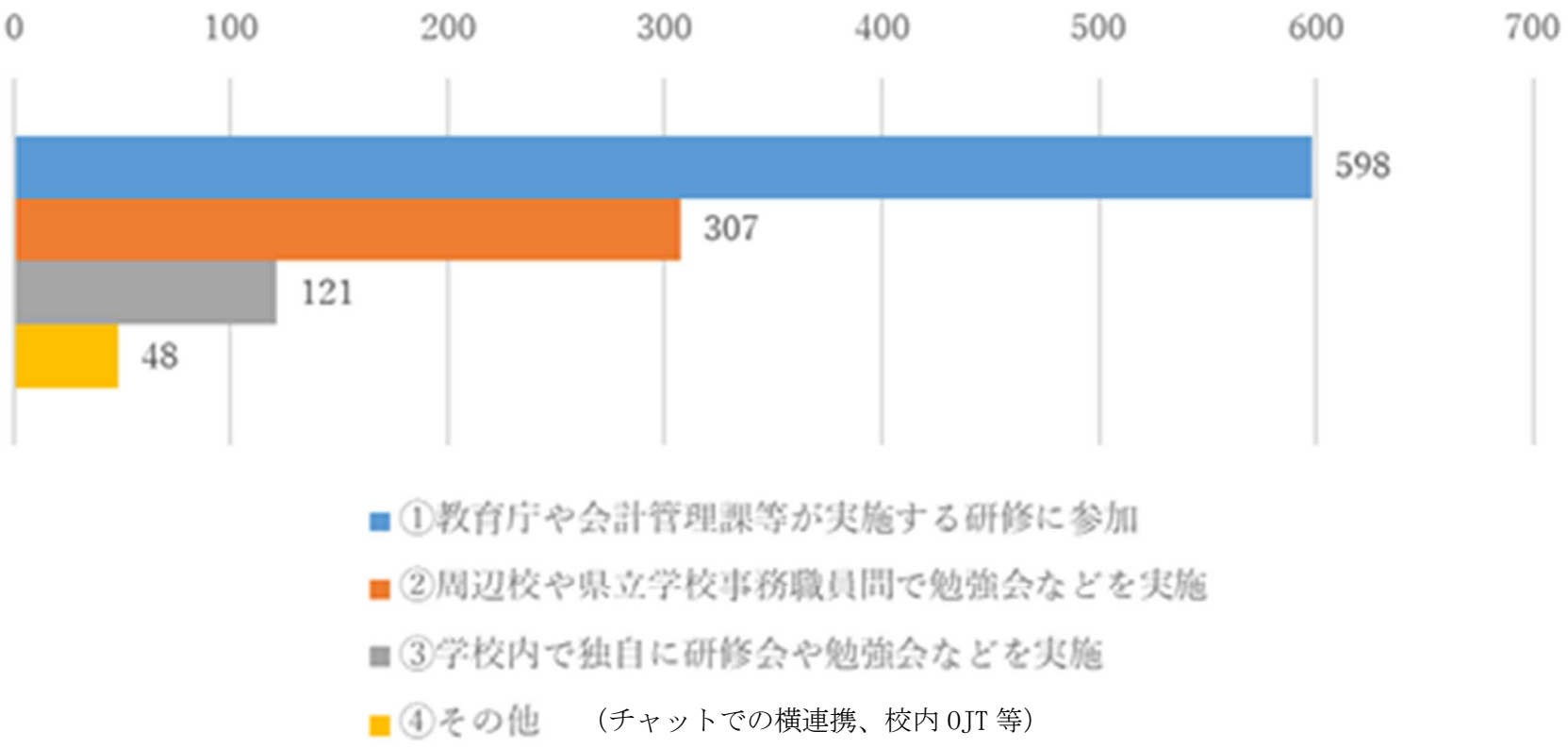
２　事務職員の資質向上のための取組

○　教育庁等が主催する研修への参加が最も多い（85.2%）が、周辺校との勉強会（42.1%）や校内での勉強会（17.9%）などにも多く参加されており、有効な取組と考えられている。



（２）事務職員の資質向上のために有効と考える取組は何か。

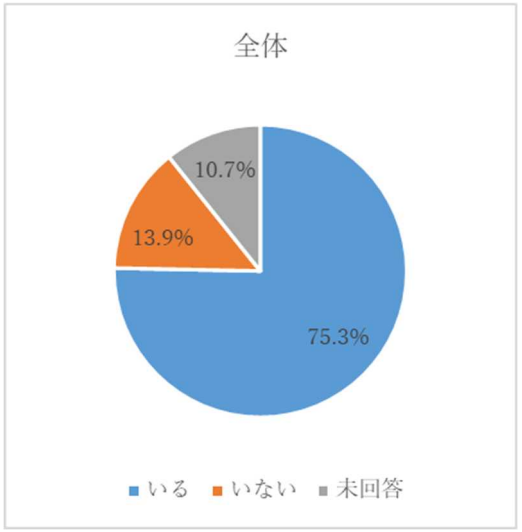
（複数回答可）　【単位：人】

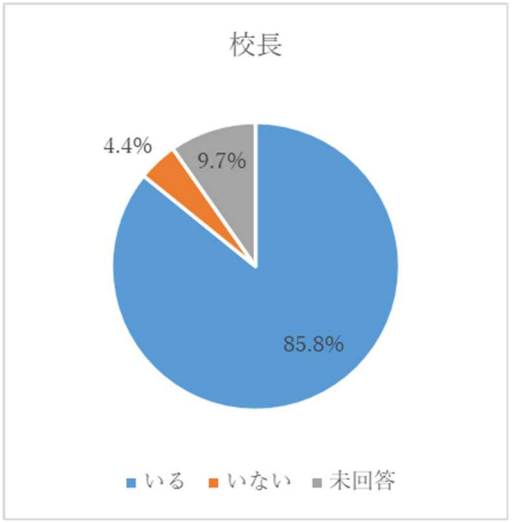


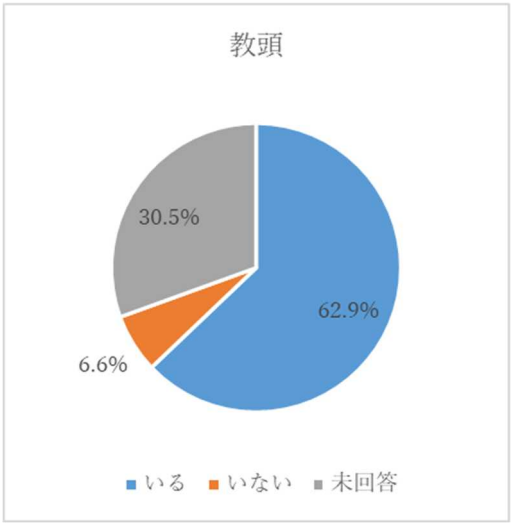
３　県立学校の事務の負担軽減のための取組

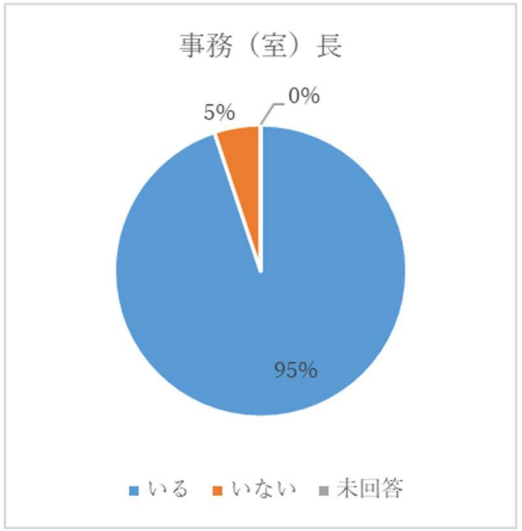
（１）事務職員の事務について、更なる負担軽減が必要と考えているか。

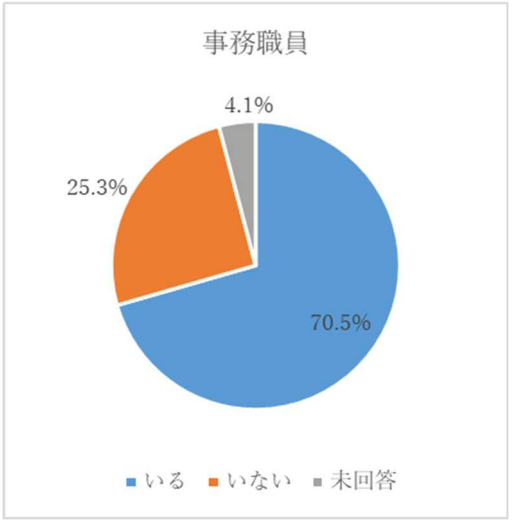
○　全体の約８割が必要と考えており、特に校長や事務（室）長は必要と考える割合が高い。





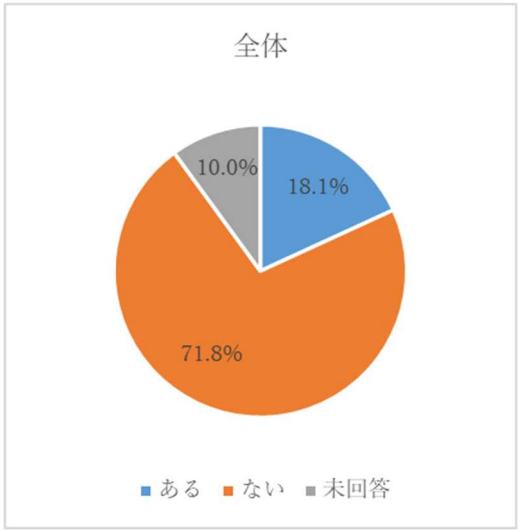


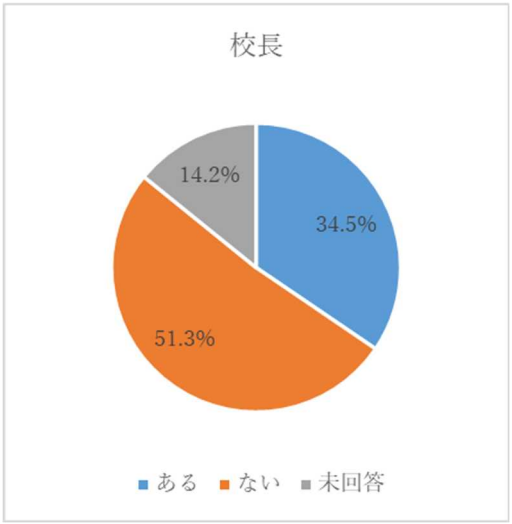


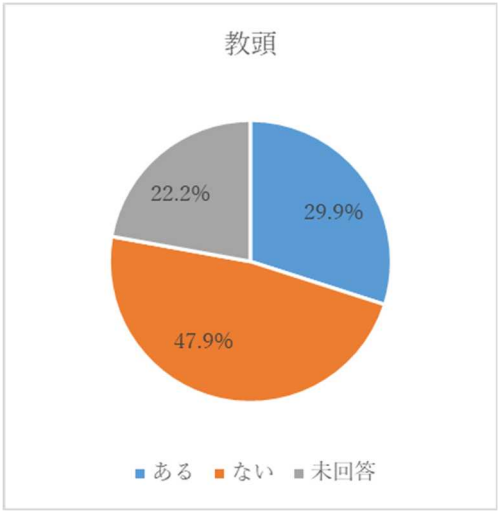


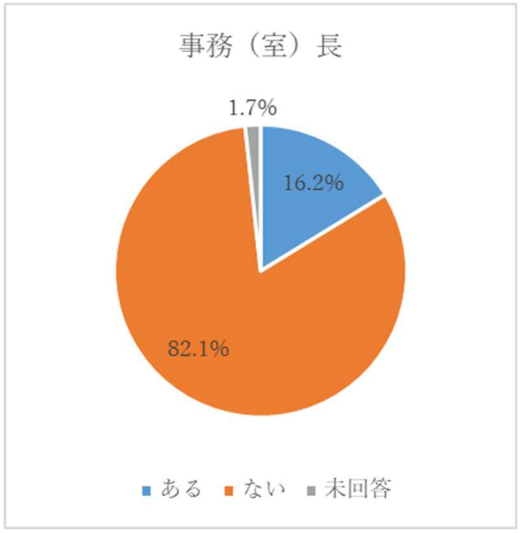
（２）教員の事務について、事務職員に移管した方がよいと考える事務はあるか。

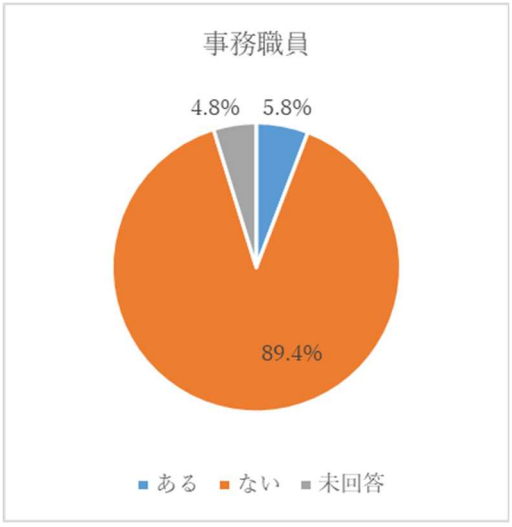
○　校長と教頭はあるとの考えが一定数あるが、事務（室）長と事務職員はあるとの考えが少ない。







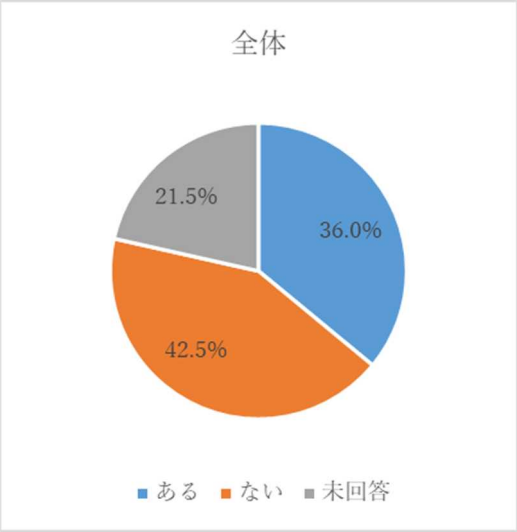


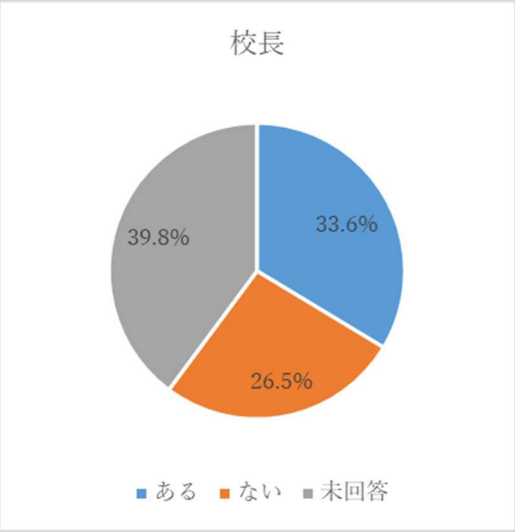


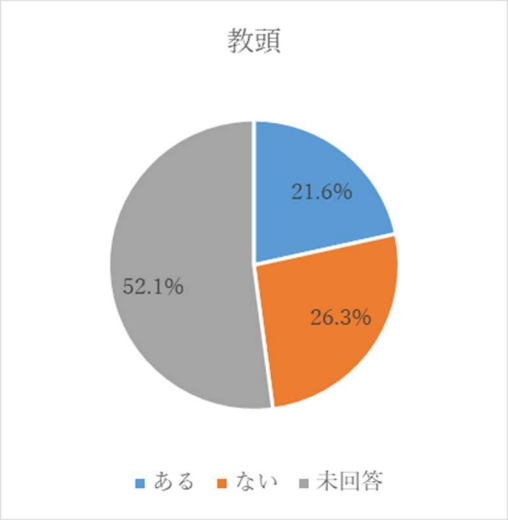
（３）各校で共通する事務で、集約できると考える事務はあるか。

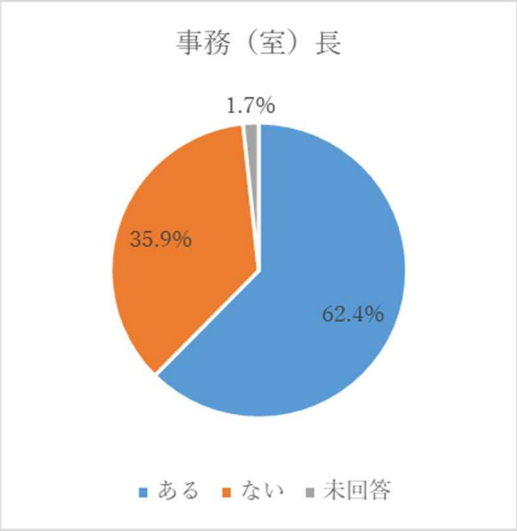
○　全体の約４割があると考えており、特に事務（室）長はあると考える割合が高い。

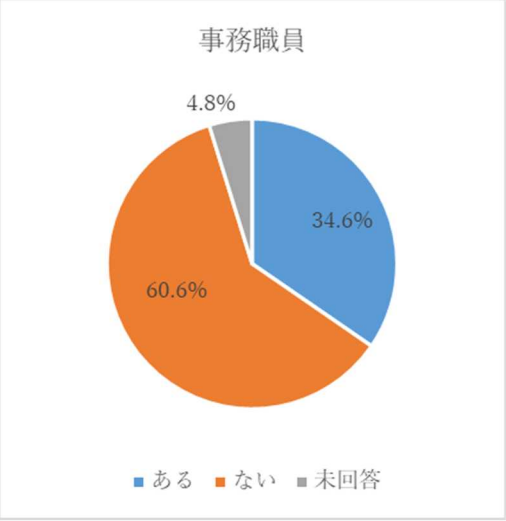
○　また、校長と教頭は未回答（わからない）との回答が多い。











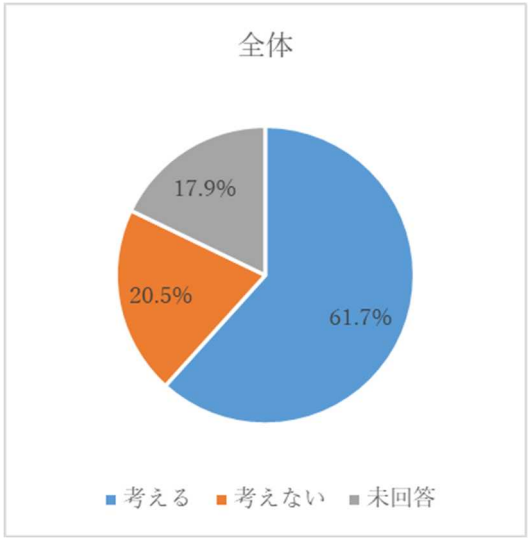
（事務の具体例として回答があったもの）

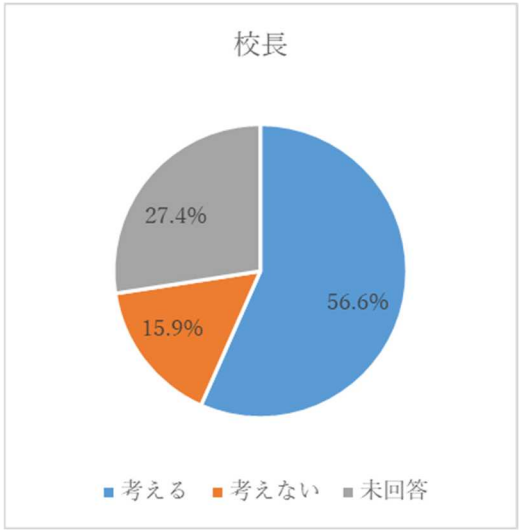
・給与・旅費
・就学支援金
・報酬支払
・物品共同調達

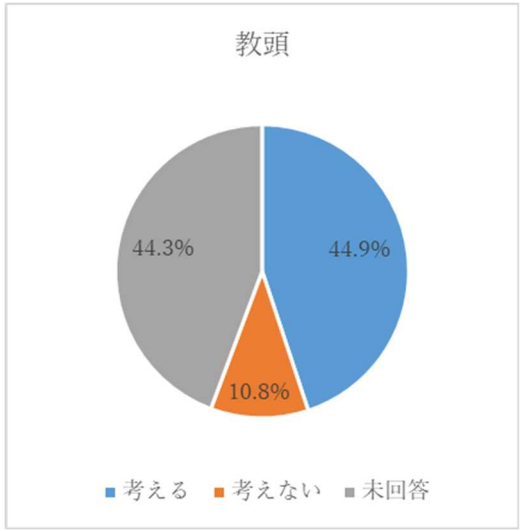
（４）各校で共通する事務を本庁や各ブロック内の特定の学校に集約することなどは有効と考えるか。

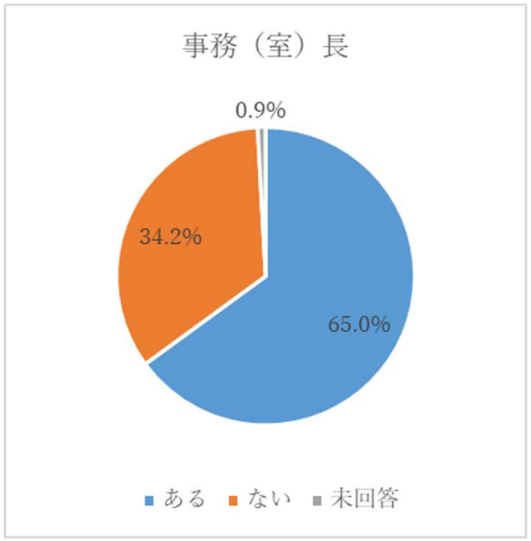
○　全体の約６割が有効と考えている。

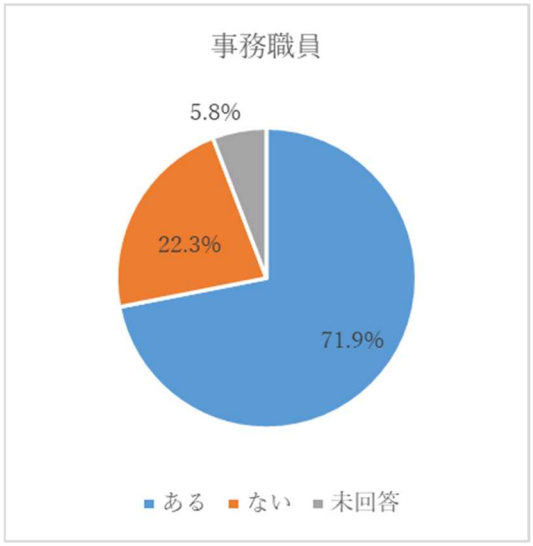
○　また、校長と教頭は未回答（わからない）との回答が多い。





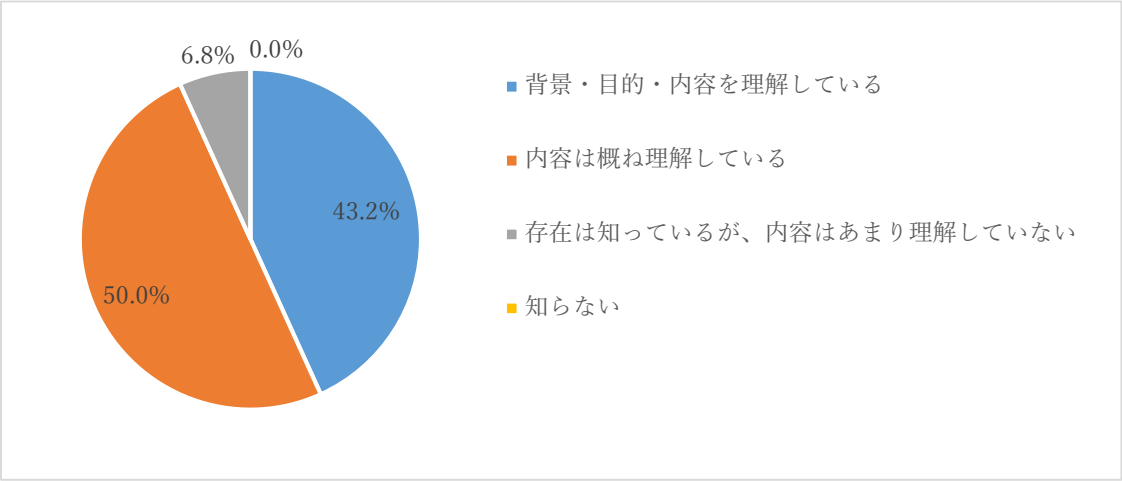




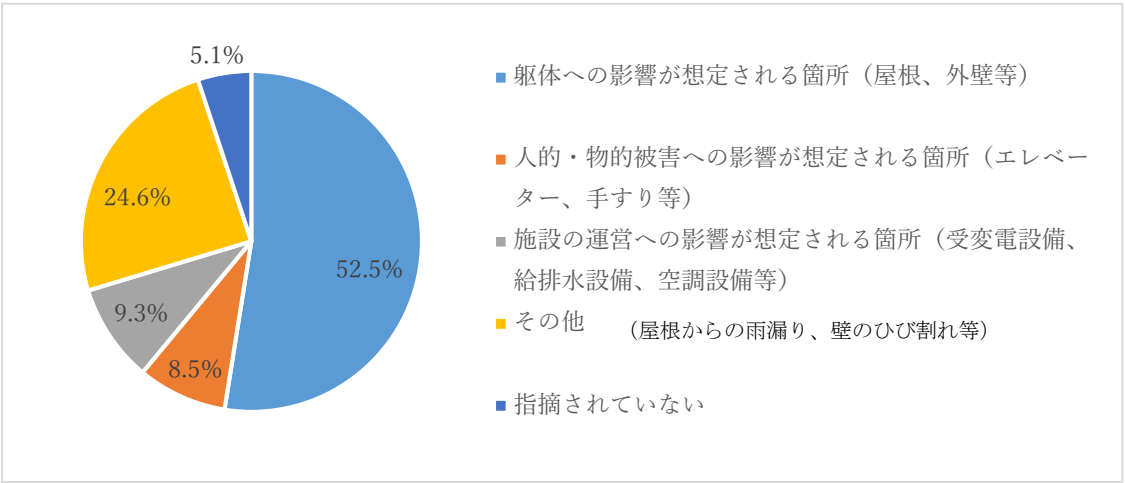


４　学校施設の老朽化（長寿命化）対策

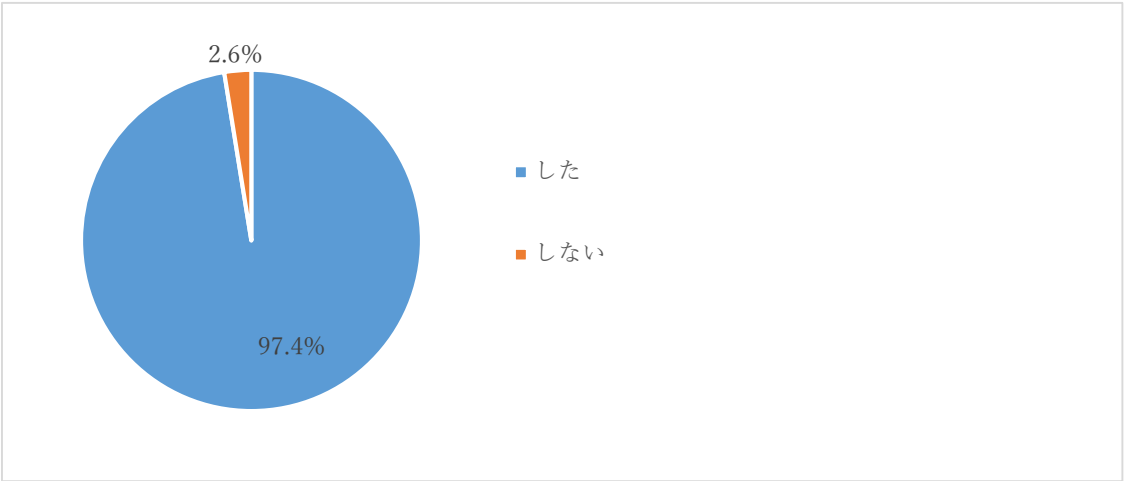
（１）「県立学校施設の長寿命化計画」についてどの程度理解しているか。



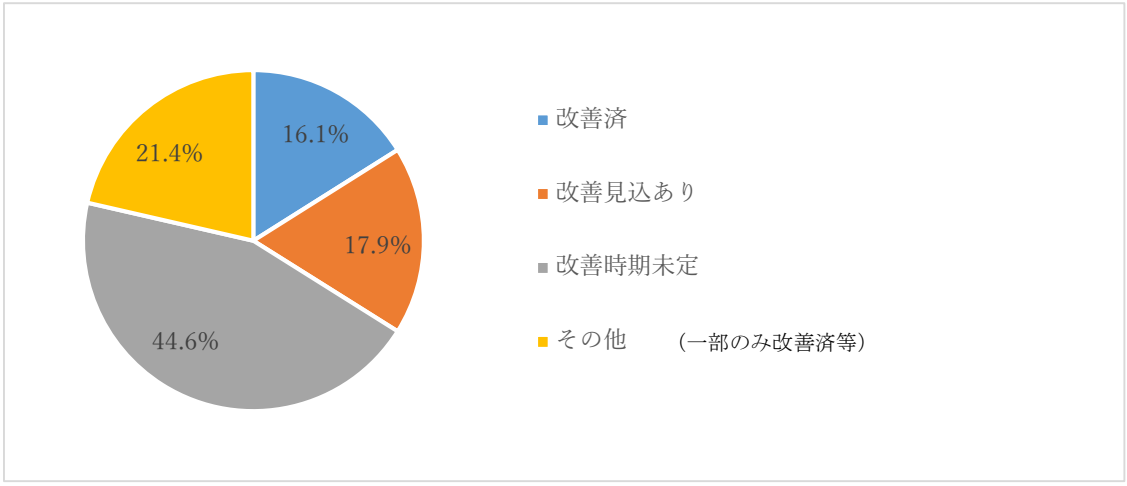
（２）直近の法定点検又は劣化度点検（非構造部材の劣化点検）で、何らかの不備を指摘されたか。



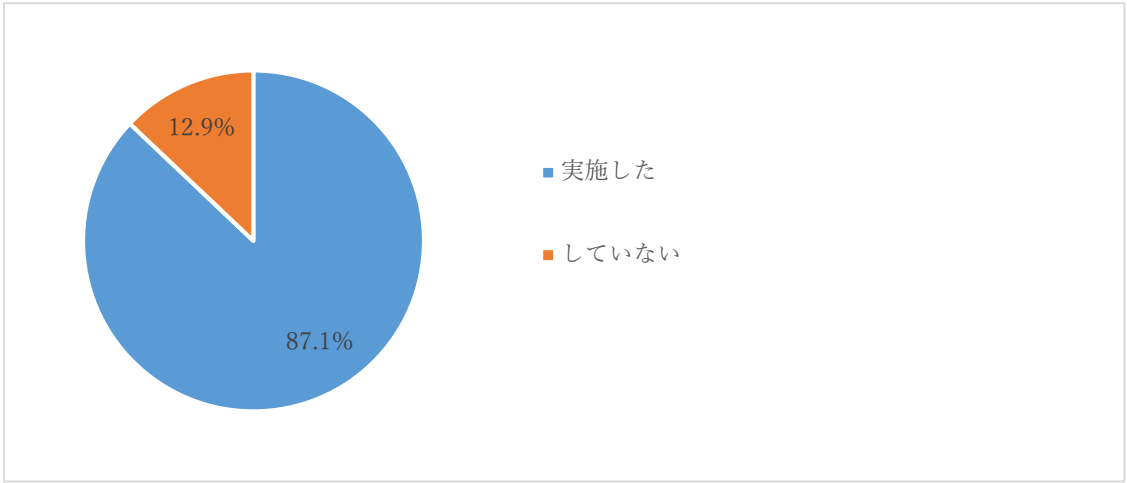
（３）直近の法定点検又は劣化度点検（非構造部材の劣化点検）の結果を本庁の所管課に報告したか。



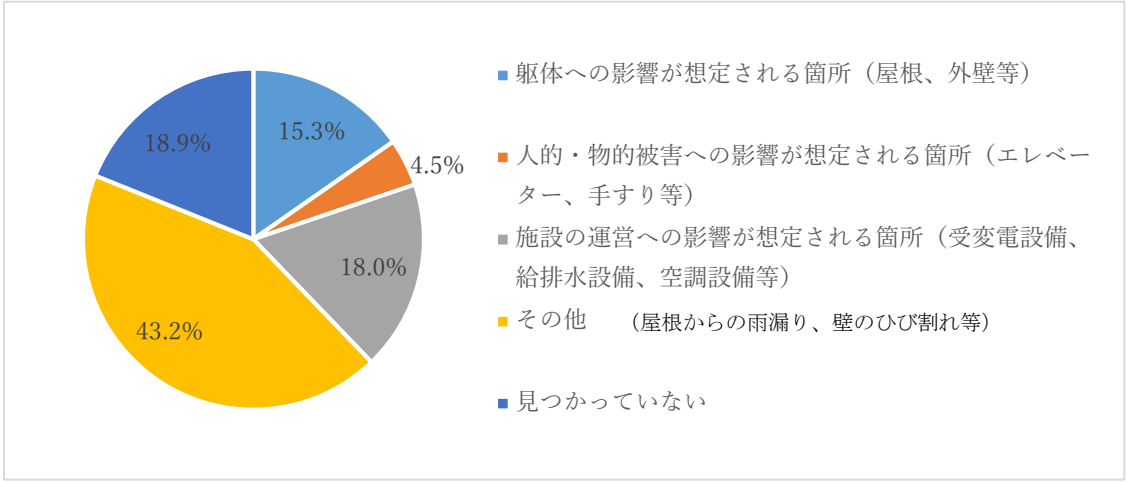
（４）直近の法定点検又は劣化度点検（非構造部材の劣化点検）における不備について改善したか。



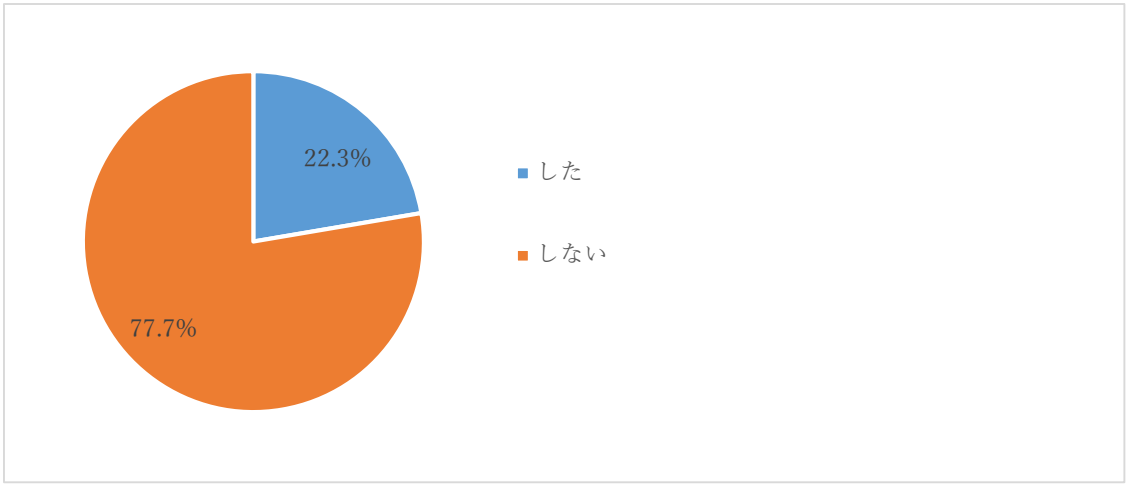
（５）昨年度、日常点検を実施したか。



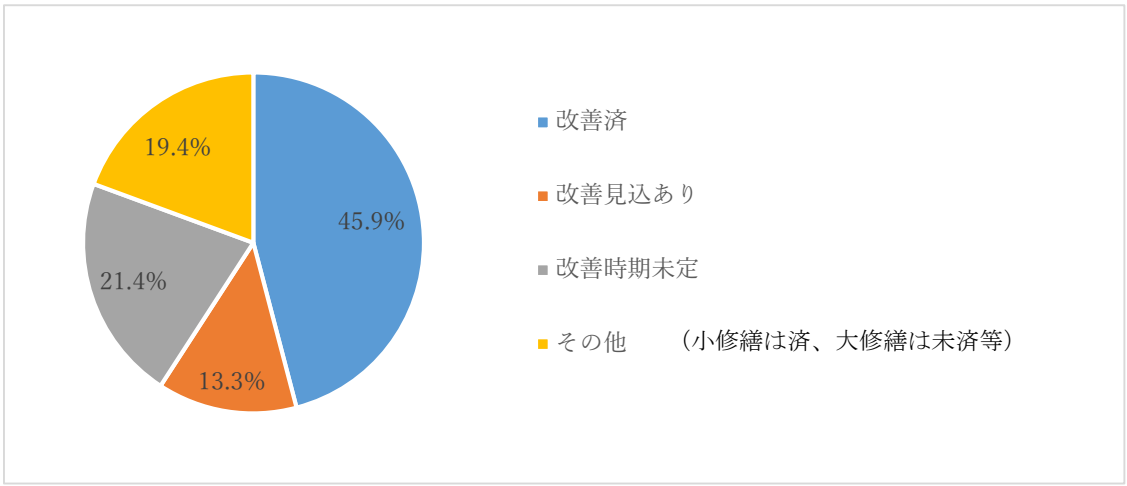
（６）昨年度の日常点検で、何らかの不備が見つかったか。



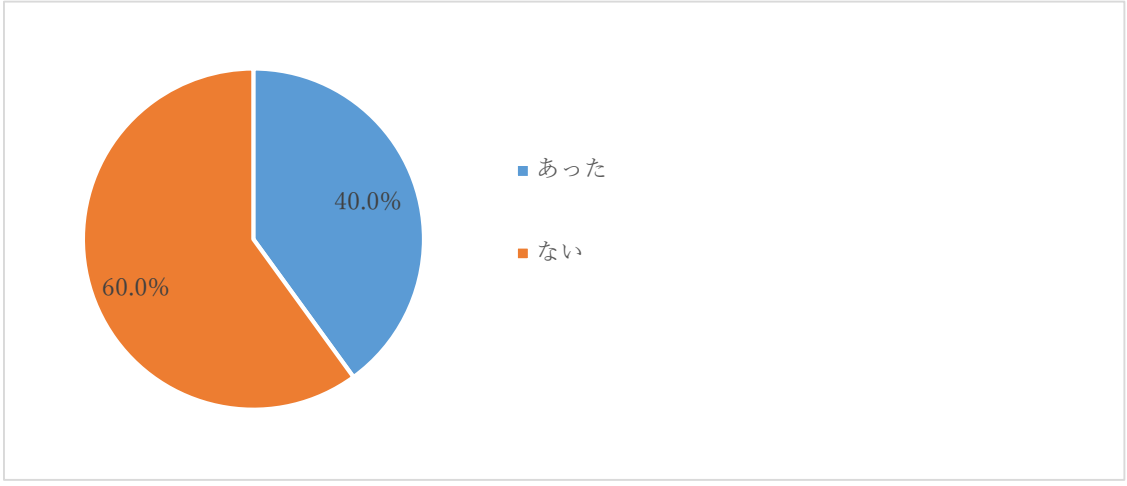
（７）昨年度の日常点検の結果を本庁の所管課に報告したか。



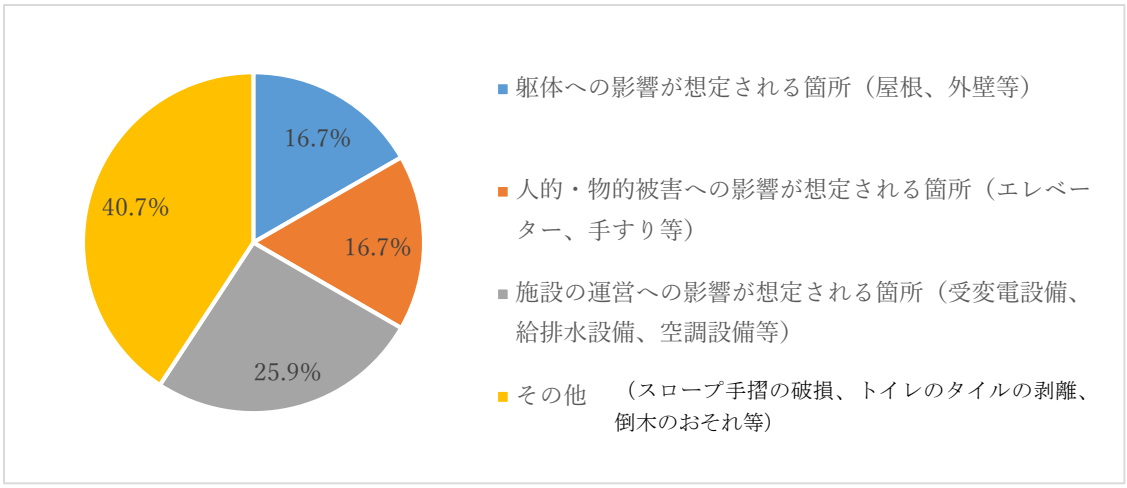
（８）昨年度の日常点検における不備について改善したか。



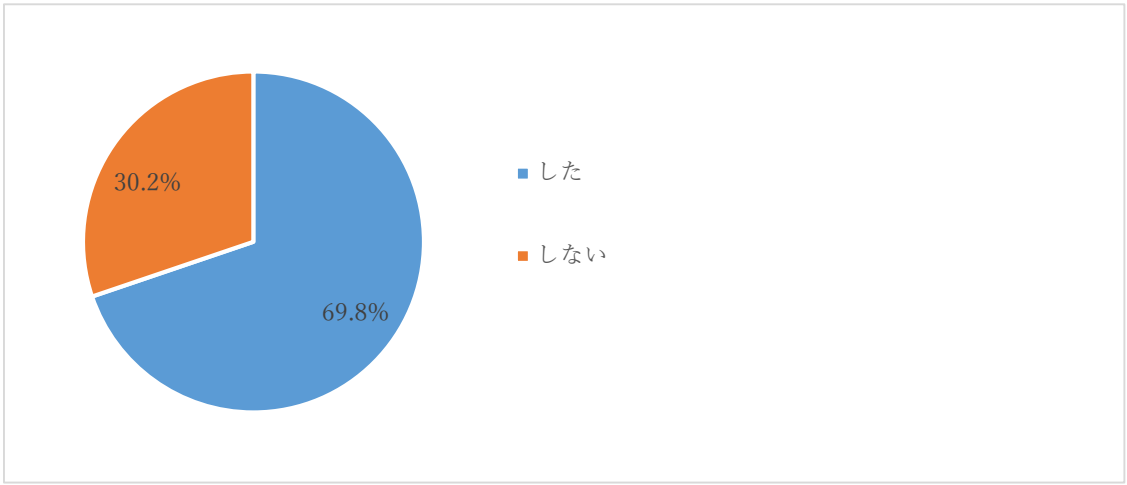
（９）昨年度、点検（法定点検又は劣化度点検、日常点検）で判明した不備とは別に、危険性が高いと認められた箇所（学校において緊急対応が必要と判断した箇所など）はあったか。



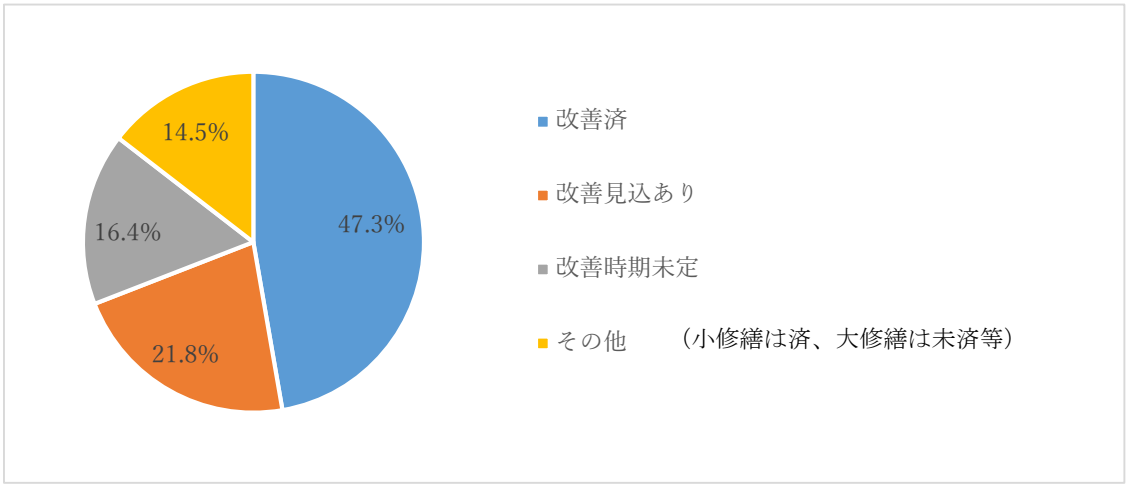
（10）危険性が高いと認められた（学校において緊急対応が必要と判断したなどの）内容は何か。



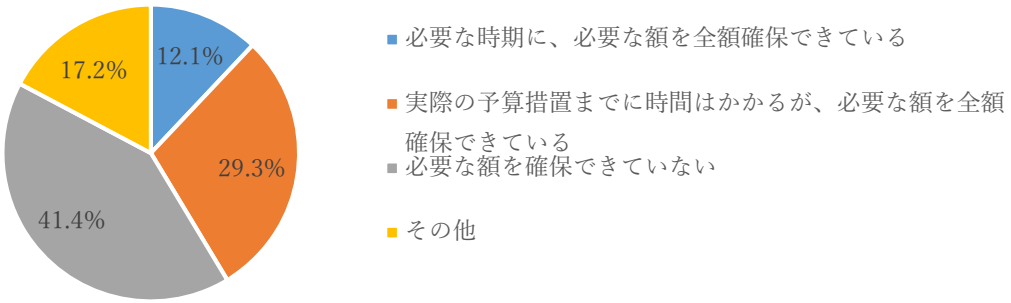
（11）危険性が高いと認められた箇所（学校において緊急対応が必要と判断した箇所など）があることを本庁の所管課に報告したか。



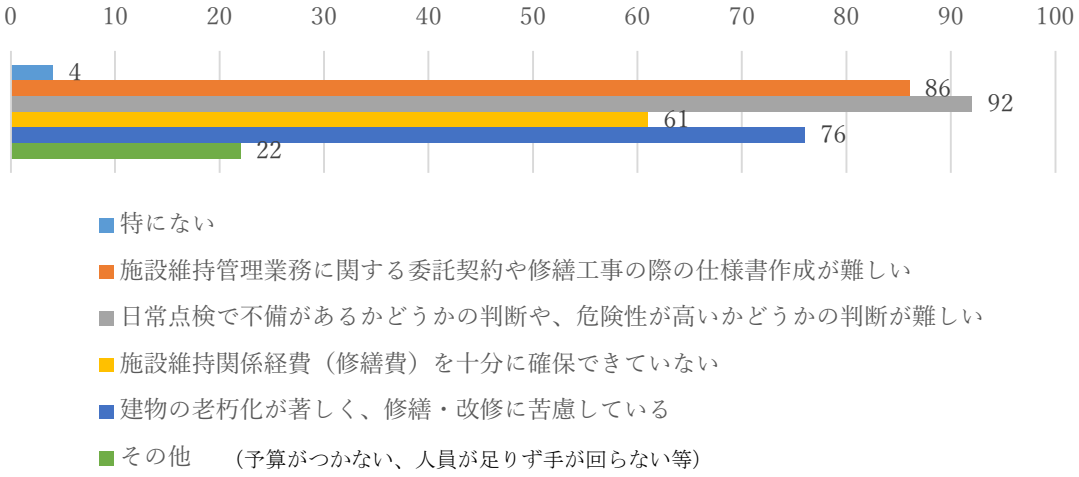
（12）危険性が高いと認められた箇所（学校において緊急対応が必要と判断した箇所など）について改善したか。



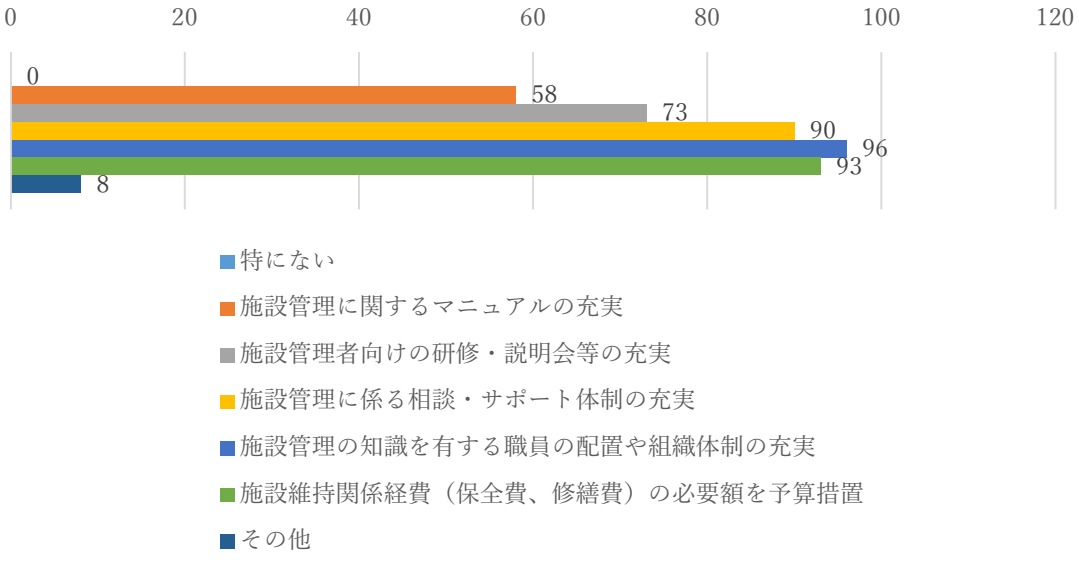
（13）施設維持関係経費（修繕費・工事請負費）は、必要な時期に必要な額を確保できているか。



（14）施設維持管理業務や施設の老朽化対策において苦慮している点は何か。（複数回答可）　【単位：校】



（15）施設維持管理業務や施設の老朽化対策のために必要と思われる点は何か。（複数回答可）　【単位：校】



○　「県立学校施設の長寿命化計画」についての理解は、「背景・目的・内容を理解している」「内容は概ね理解している」が９割以上。

○　学校施設の老朽化は県立学校全体で顕著で、屋根・外壁・防水・給排水・トイレ・照明・防火設備など、ほぼ全校で何らかの不具合や要修繕箇所が確認。

○　応急修繕や小修繕は学校運営費により学校対応、大規模改修は本庁へ要望を出すものの、未措置・先送りが多数（「軽微＝学校」、「大規模＝主管課要望・予算待ち」という二層構造）。

○　運営費で賄える範囲は限定的、修繕費は年々増加傾向（複数校で顕著）。

【学校が苦慮している点】

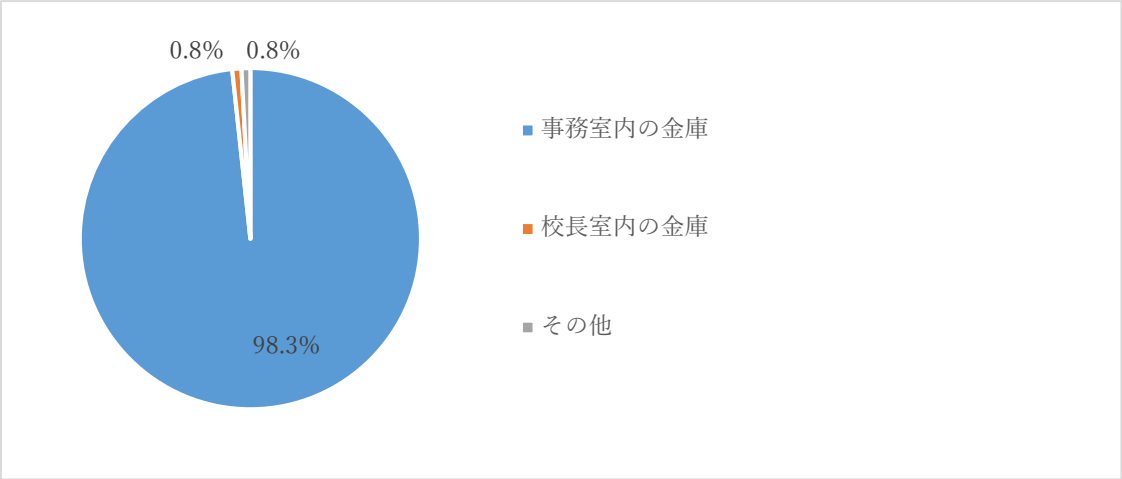
・修繕・工事の仕様書作成が難しい
・業者見積の妥当性判断ができない
・通常業務と並行しての施設管理が限界

【学校が求める支援】

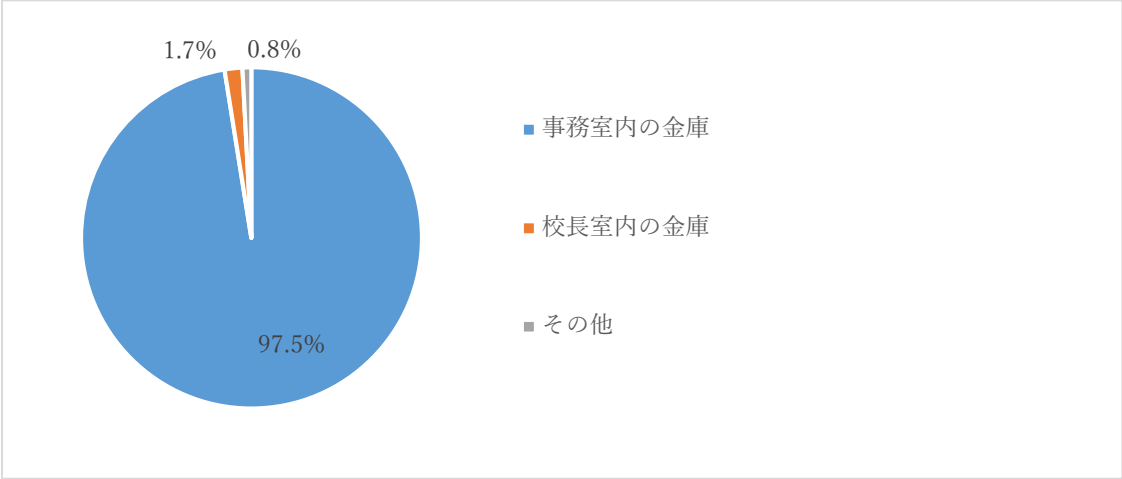
・専門職・技術者による巡回点検
・研修・マニュアルの充実
・相談・サポート体制の明確化
・長寿命化工事の「見通し」の提示

５　現金や通帳の管理状況

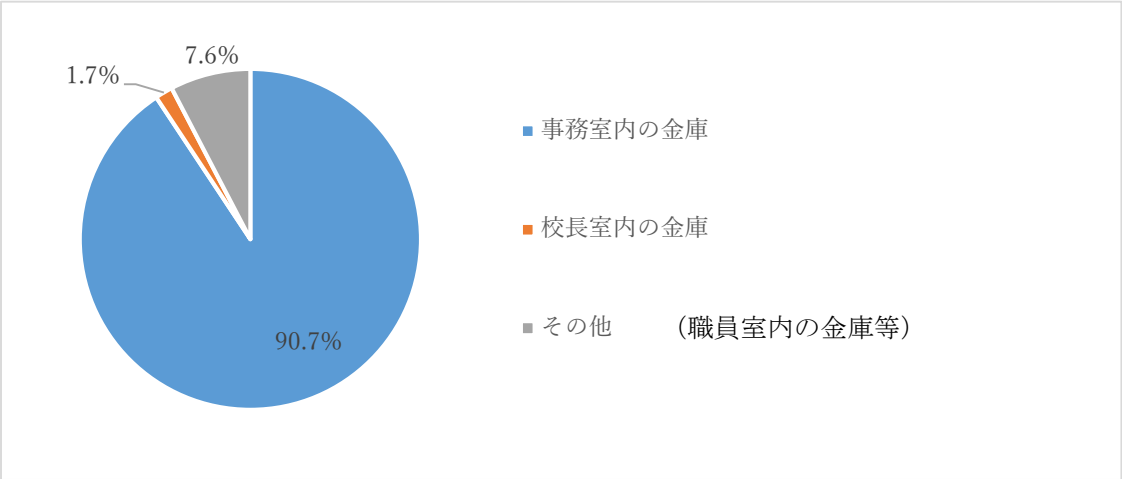
（１）公費に係る現金の保管場所はどこか。



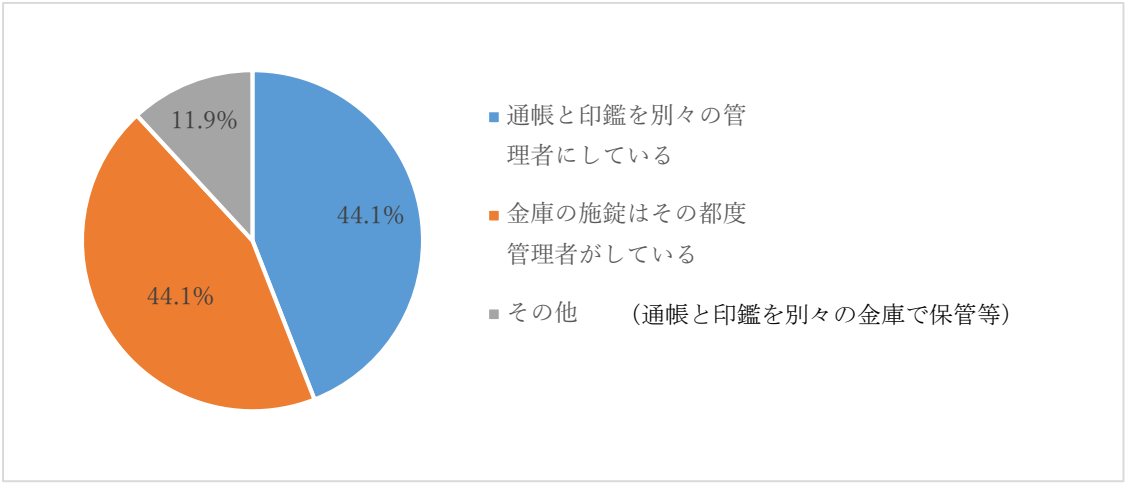
（２）公費に係る通帳の保管場所はどこか。



（３）PTA 会費などの私費に係る現金や通帳の保管場所はどこか。



（４）現金や通帳の管理に当たって気を付けていることはなにか。



○　現金・通帳管理は金庫内等で適正に管理。

○　通帳・印鑑の分離保管についても徹底し、金庫管理、担当者限定、現金最小化が定着。